



神田外語大学 ボランティアセンター報告書

KUIS Volunteer Center

2016 年度～2017 年度



神田外語大学

Contents

目次	1
神田外語大学ボランティアセンター	
・ 理念、特徴	2
・ ボランティアセンターの活動	3
・ ボランティアセンター運営委員会構成員	3
・ ボランティアセンター施設案内	3
年次報告第2号のご挨拶	4
スポーツ通訳・国際大会ボランティア	
・ スポーツ通訳・国際大会ボランティアとは	5
・ 主な実績	6
・ スポーツ通訳ボランティアを体験した卒業生からの声	7
・ 全国外大連携プログラム通訳ボランティア育成セミナー	8
・ 全国外大連合による通訳ボランティアの取り組み	12
地域貢献・国際交流ボランティア	
・ 地域貢献・国際交流ボランティアとは	16
・ 主な実績	17
・ 幕張チャリティ・フリーマーケット	18
・ 東日本大震災復興支援プロジェクト2011年度～2017年度の記録	20
・ ふくしまサクラモリプロジェクト	25
・ 東北の新月学内上映会	26
・ 参加学生の声	27
国際協力・国際開発ボランティア	
・ 国際協力・国際開発ボランティアとは	28
・ 主な実績	29
・ ホノルルフェスティバル運営補助ボランティア	30
ボランティアセンター主催プログラム	
・ 大覚寺プログラム	31
・ JICAボランティアセミナー	32
・ ボランティア参加証授与式	33
・ ファシリテーション講座	34
・ リーダーシップ研修	35
2016年度～2017年度ボランティア実績一覧	36
学内ボランティア団体の紹介	42
KUIS Volunteer Union	43
ボランティア情報の発信	45
協力・関連団体	46
編集後記	47

神田外語大学ボランティアセンター

理念

神田外語大学ボランティアセンター（以下を「ボランティアセンター」という。）のボランティア教育支援とは、ボランティアを提供する側の一方的な奉仕活動（サービス）だけでなく、奉仕活動を通してそれを受ける側から、また活動自体を学ぶ（ラーニング）双方向的要素を含んでいます。ボランティアセンターは、学生に対し、ボランティア体験を通じて、国際社会並びに地域社会が抱えている様々な問題やニーズを発見・共有しながら、自ら考え行動する力を養い、学生の自立を促進し、成長する機会を増やします。ボランティアセンターは、ボランティア活動の中から学生が社会に出て必要な能力

1. 自立・主体的な行動力
2. 社会性、幅広い知識・教養
3. 大学で学んだ知識を現場で活かす実践力

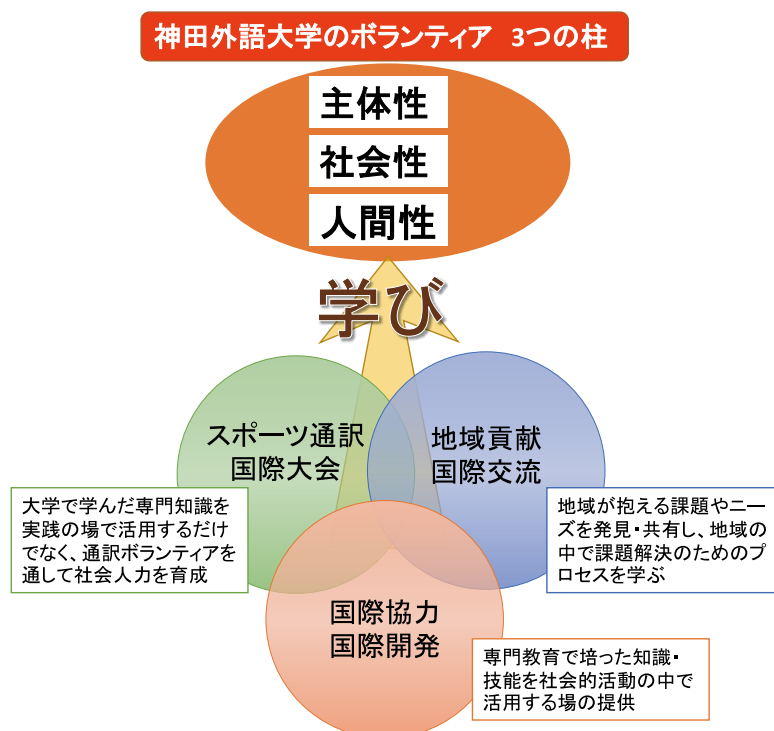
の向上を目指し、様々なボランティア活動に対する育成・支援を行っています。

特徴

神田外語大学のボランティアは3つの柱に分類されます。

1. スポーツ通訳・国際大会
2. 地域貢献・国際交流
3. 国際協力・国際開発

大学で培った専門的な知識や技能を学外で活かす場を提供することで、学生の学習意欲向上を図ります。また、ボランティア活動を通して学生の主体性、社会性、人間性を育みます。



ボランティアセンターの活動

1. 神田外語大学の建学の精神『言葉は世界を繋ぐ平和の礎』に基づくボランティア精神の育成と普及
2. ボランティア活動を通じての人材育成と社会貢献
3. 学内外のボランティア情報の紹介とその活動支援
4. ボランティア活動の記録とその広報活動支援
5. 学内ボランティア団体の活動支援

ボランティアセンター運営委員会構成員

No	所属	氏名
1	ボランティアセンター長	柳沼孝一郎
2	学生委員長	布川 雅英
3	教務委員長	石居 康男
4	教職課程委員長	武田 明典
5	体育・スポーツセンター長	市瀬 良行
6	国際コミュニケーション学科	和田 純
7	イベロアメリカ言語学科	高木 耕
8	イベロアメリカ言語学科	松井 健吾
9	事務局長	菅野 文博
10	学事部	松下 和久
11	広報部	寺田 誠

No	所属	氏名
12	教務課	平原 三生
13	学生課・ミレニアムハウス	高瀬雄一郎
14	国際交流課	柳田 知美
15	ボランティアセンター 事務長	岡戸 巧
16	ボランティアセンター	羽鳥 岳裕
17	ボランティアセンター	久保 光輝
18	ボランティアセンター	實山あゆみ
19	ボランティアセンター	松橋 亜矢
20	スポーツ通訳ボランティア推進室長	朴 ジョンヨン
21	スポーツ通訳ボランティア推進室	吉原 聡

ボランティアセンター施設案内（6号館2階）



▲ボランティアセンター事務局



▲ボランティア活動エリア①



▲ボランティア活動エリア②



▲ボランティア情報ラック



▲ボランティア募集掲示板

年次報告第2号のご挨拶

**KUISの心で、サクラモリ(桜守)の慈愛で、
絆の輪と和を紡ぐ**

**「世界を学ぶ」神田外語大学から、ボランティア活動を通じて、
日本と国際社会へ発信する！**

神田外語大学ボランティアセンター長
副学長・国際コミュニケーション学科教授

柳 沼 孝 一 郎



風薫る5月、幕張の風物詩「幕張チャリティ・フリーマーケット」と「国際フェスタCHIBA」の開催で2017年も幕が開けました。6月には「県民の日・幕張フェスタ2017」に参加、例年にない猛暑の7月から8月にかけて「全国高校生対象 通訳ボランティア入門講座」（会場：神田外語大学、横浜、静岡、大宮、神田外語学院）の開催、さらにはMAKE SMILEの絶大なる協力の下、宮城県亘理町において「東日本大震災復興教育ボランティア」が実施され、いまだ残暑厳しい頃には「サマーソニック前夜祭」と「駅・幕張の浜周辺早朝クリーン運動」に爽快な汗を流し、秋の気配が感じられる9月初めの福島県天栄村恒例の「児童英語教育実践2017」が実施され、9月中旬には本学において「平昌冬季オリンピック通訳・運営ボランティア育成セミナー」が開催され、下旬には「フィエスタメヒカーナinお台場2017」に多くの本学ボランティア学生・教職員が一大イベントの運営に携わりました。幕張地区が秋一色につつまれる10月、「幕張南小学校ニュージーランド交流会」では本学学生が小学生の国際交流のために裏方として活躍、日本人とニュージーランドの小学児童の皆さんとともに感動を共有した次第です。そして、氷と雪の祭典、平和と共存の悲願を託した「2018平昌冬季オリンピック」では、本学の多くの学生をはじめ、全国外大連合から参加した通訳・運営ボランティア学生がオリンピック運営を支え、その活躍する雄姿に涙するほど感動を覚えたのは記憶に新しいところです。

こうして本年2017年度も多岐にわたるボランティア活動が展開され、それぞれに参加、活動した学生、教職員の皆さん一人ひとりの心の内に残された感動を次ぎにつなげていきたいものです。本学の建学の精神「言葉は世界をつなぐ平和の礎」を旨とする真の国際人たらしめ、日々、研鑽を積む神田外大生の高度なコミュニケーション能力と行動力、そしてKUISスピリットとサクラモリ(桜守)プロジェクトの慈愛の心をもって、人と人の絆の輪を紡ぎ、国と地域の和をつなぐボランティア活動を通して、「世界を学ぶ」神田外語大学から日本へ、そして世界へ発信してゆくことを切に願ってやみません。

スポーツ通訳・国際大会ボランティア

スポーツ通訳・国際大会ボランティアとは

本学の教育理念である「言葉は世界をつなぐ平和の礎」の下、国際的なスポーツイベントに携わる機会を学生に提供することで、その実践の場において言語の運用能力や社会性を育み、そして人間性を高め国際社会に貢献できる人財を育成すること、それが神田外語大学スポーツ通訳ボランティア推進室が目指す活動です。



「スポーツと 言語コミュニケーション教育から グローバル人財育成」

体育・スポーツセンター 講師
スポーツ通訳ボランティア推進室 室長
全国外大連携プログラム通訳ボランティア育成コーディネーター
朴 ジョンヨン



オリンピック・パラリンピックやワールドカップで代表されるように、スポーツの国際化・グローバル化は急速に進行しています。スポーツは国籍を問わず、言語・人種・宗教を乗り越え、世界の人々に喜びと感動、そして勇気を与える力を持っています。その意味ではスポーツは世界をつなぐ平和の共通語であり、優れたコミュニケーションツールでもあります。人間は、誰もが運動能力と同様に、言語能力を持って生まれますが、どのような方法でその能力を引き出し、発揮・向上させるかは大きな課題であります。

神田外語大学からは毎年、国内外で開催される国際スポーツ大会・イベントに多くの学生を通訳ボランティアとして送り出しています。参加した学生からは「学んでいる言語以外に、ほかの言語を学びたいという意欲がわいた」、「外国人選手と接し、異文化理解力が深められた」など活動の充実さが窺えます。この経験を通じ、客観的な自己の言語能力に気づき、外国語学習へのモチベーションアップに繋ぎ、グローバル社会で活躍することを願ってやみません。

主な実績

◆ 主な業務内容

スポーツ通訳ボランティアの業務は、各イベントによって異なりますが、主に大会運営業務、海外選手団サポート、大会期間中の各国選手のアテンダント、式典・会議での通訳など、様々な場面でイベント運営に携わっています。



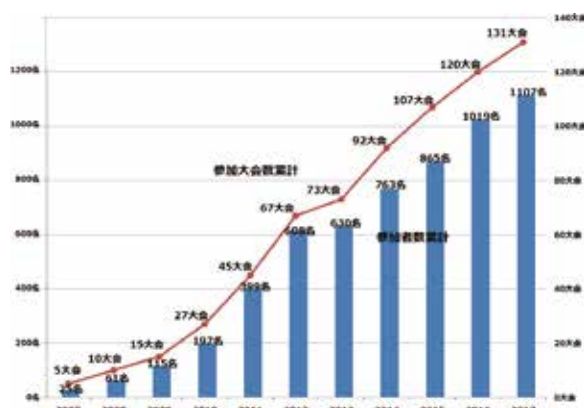
◆ 2007年度～2017年度の参加実績及び主な大会名

- ・第22回ソチオリンピック冬季競技大会（2014）
- ・世界フィギュアスケート選手権大会（2014）
- ・ブラインドサッカー世界選手権大会（2014）
- ・世界陸上 蘭・ベルギー選手団事前キャンプ（2015）
- ・世界少年野球大会 千葉大会（2015）
- ・ラグビートップリーグ クボタスピアーズ サポート（2015）
- ・ジェフユナイテッド市原・千葉 選手通訳（2016）
- ・ジャパンウィルチェアラグビー競技大会（2016）
- ・第3回WBSC いわき U-15 野球大会（2016）
- ・文部科学省 スポーツ・文化・ワールド・フォーラム（2016）
- ・高円宮杯 フェンシングワールドカップ（2016）
- ・2017 冬季アジア札幌大会（2017）
- ・2018平昌冬季オリンピック大会（2018）

◆ 言語別総計



◆ 年別実績推移



スポーツ通訳ボランティアを体験した卒業生からの声

英語教員

経験しないとわからない
「支える」スポーツ

央戸 陽香 さん
英米語学科 2015年度卒業

参加した活動
・2014 全全世卓球東京大会
・2014 KOF世界空手道選手権
・2014 世界エアロビック選手権



「違った角度からスポーツを見てみたい」そんな気持ちで始めました。スポーツ通訳ボランティアでは、通訳はもちろん、書類の翻訳や日程調整、会場アナウンスなど、普段できない様々な経験をしました。

多くの人と関わる中で、自分自身を顧み、鼓舞するきっかけにもなったと感じています。この経験は、誰にも話せない、私だけが話せる強みです。

「支える」スポーツを経験した今、今度は「伝える」スポーツをしたいと思っています。

IT企業

通訳ボランティアで学んだ
+αの重要性

中野 峻 さん
イペロアメリカ学科 ブラジル・ポルトガル語専攻
2015年度卒業

参加した活動
・2015 世界少年野球大会
・2015 ラグビー7人制東京大会



通訳ボランティア体験の中で最も記憶に残っているのは、4年生のときに参加した7人制ラグビーワールドカップのUSAチーム帯同通訳です。主な仕事内容は、チームの練習会場の確保とそのための他チームとの交渉、バス配車およびチームのスケジュール管理など多岐にわたり、正直なところ、思い描いていた通訳像とはかけ離れていました。コミュニケーションはとれて当たり前。その中でチームの要求を理解し、いかに「+α」を乗せて応えられるかが重要でした。

日本体育協会

“選手の印象は
通訳の言葉で決まる”

高橋 愛 さん
アジア言語学科 韓国語専攻 2015年度卒業

参加した活動
・ジェフユナイテッド市原・千葉
・クラブスピアーズ
・2014 千葉アクアラインマラソン



最も印象に残っている活動は、ジェフユナイテッド市原・千葉での韓国人選手通訳です。試合後の記者対応の際の韓国語通訳を担当しました。活動を始めた当初は留学で身についた韓国語と、女子サッカー部での経験でそれなりに出来るだろうなんて甘い考えでしたが、通訳はそんなに簡単な仕事ではありませんでした。試合中の選手の動きやチームの流れ、監督のコメント等をメモし、韓国語を準備して通訳に臨んでいました。

スタッフの方がおっしゃっていた「選手の印象は通訳の言葉で決まる」という言葉の通り、言葉一つ一つへの責任感と事前準備の大切さを学んだ活動でした。

青年海外協力隊

就活で胸を張れる
通訳ボランティアでの経験

佐久間 大樹 さん
英米語学科 2016年度卒業

参加した活動
・2014 世界フィギュアスケート選手権
・2015 U-15 Baseball World Cup
・2017 冬季アジア大会札幌大会



大学生活の中で、最も力を入れたことは何ですか？と就職活動や大学院等への入試の面接の場面で必ず聞かれたこの質問に対して、私は決まって「スポーツ通訳ボランティアの活動です。」と、胸を張って答えることができました。大学1年次の春休みに初めて参加して以降、4年間でメジャーなものからパラスポーツまで様々な競技に関わらせていただきました。

活動を通して、自分の知見を広げ、様々な業種・競技に関わる人と繋がり、大学生活の4年間で大きく成長する事が出来たのは、スポーツ通訳ボランティアがあったからだ と確信しています。

全国外大連携プログラム通訳ボランティア育成セミナー ～世界スポーツ・国際イベントに向けて～

概要

2015年～2017年までの開催状況：

回	開催日程	開催場所	参加者数
第1回	2015年8月24日(月)～27日(水)	神田外語大学	236名
第2回	2016年2月9日(火)～12日(金)	神田外語大学	197名
第3回	2016年9月6日(火)～9日(金)	神田外語大学	367名
第4回	2017年2月15日(水)～18日(土)	京都外国語大学	178名
第5回	2017年9月5日(火)～8日(金)	神田外語大学	356名

受講対象：

関西外国語大学、神田外語大学、京都外国語大学、神戸市外国語大学、東京外国語大学、長崎外国語大学、名古屋外国語大学

後援機関：

東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部（第5回）
文部科学省（第1～5回） 外務省（第1～5回） 観光庁（第1～3、5回） 東京都（第5回） 千葉県（第1～3、5回）
京都府（第4回） 京都市（第4回） 京都府教育委員会（第4回） 京都市教育委員会（第4回）
2017札幌アジア冬季大会組織委員会（第1～3回）
2018平昌（ピョンチャン）オリンピック・パラリンピック大会組織委員会（第3、5回）
公益財団法人 ラグビーワールドカップ2019組織委員会（第1～5回）
一般社団法人 関西ワールドマスタースゲームズ2021組織委員会（第3～4回）
公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会 日本パラリンピック委員会（第1～5回）
NPO法人 日本オリンピック・アカデミー（第1～3、5回）
一般社団法人 全国外国語教育振興協会（第1～3、5回）

協力機関：

公益財団法人 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会（第1～5回）
一般社団法人 ホスピタリティ機構（第1～3、5回）

全国外大連携プログラム通訳ボランティア育成セミナーについて

グローバル社会が急速に進行している中、真のグローバル人材に求められるのは語学力だけでなく、世界に通用する人間力です。つまり、自ら主体的に考え、責任を持って行動することが重要です。

このセミナーは「人間としてのキャパシティを広げるための学び、リベラルアーツ（教養教育）を身につけるために役立つカリキュラムになっています。

内容としてはスポーツ・文化を始め日本・異文化理解そして、ホスピタリティマインド、通訳技法・スキル等幅広い知識・技能を学ぶことができます。

全国外大連携プログラム通訳ボランティア育成セミナーの開催報告（第1回～第5回）

神田外語大学では、2007年4月～2017年8月まで国際スポーツ大会131回において、1,107名の学生をスポーツ通訳ボランティアとして送り出してきました。オリンピックやワールドカップで代表されるように、スポーツの国際化、グローバル化が急速に進行している中、大会の円滑な運営には言語・コミュニケーションの分野が大きな課題とされ、外国語が使えるボランティアの存在は必要不可欠になってきています。この活動は体育・スポーツがもたらす社会・教育的な機能及び効果を検証すると同時に、語学・コミュニケーション力などグローバル人材育成に寄与する貴重な実践の場を提供するものです。

これまでの実績と成果のもと、2014年11月に開催された全国外大学長会議（場所：京都外国語大学）で、全国7つの外語大が連携し、通訳ボランティア育成を進めていくことが決定しました。それに伴い2015年8月に第1回目となる「全国外大連携プログラム通訳ボランティア育成セミナー」を神田外語大学にて開催しました。

第1回（2015年8月）においては、当初240名を募集したのに対し、約1,000名近い申込がありました。参加した受講者からは「グローバル人材とは何か、そのために何をすべきかが明確になった」、「参加する前より語学を学ぶ意義と学習意欲が高まった」、「日本人としてのアイデンティティについて考えるようになった」など充実した内容であったことが伺えました。申込者が多かったことから、第2回（2016年2月）を同内容で実施することが決まりました。

第3回（2016年9月）では、受講者の声から受講言語を英語240名だけでなく、中国語40名・韓国語40名・スペイン語40名・ポルトガル語40名に対応し、受講定員400名を可能にしました。基調講演では、来日した2018平昌冬季オリンピック・パラリンピック大会副事務総長 金キホン氏が登壇され、日本文化理解の講座では和泉元彌氏らによる講義・実演があり、受講者は狂言を体験しました。

第4回（2017年2月）においては、初の関西地区開催として京都外国語大学にて開催しました。基調講演では、東京オリンピック・パラリンピック組織委員会の森喜朗会長が登壇され、京都市内観光案内を含む実践的なカリキュラムとなりました。

第5回（2017年9月）では、第3回と同様のカリキュラムと受講定員400名で実施する中、基調講演では自由民主党参議院議員会長の橋本聖子氏が登壇され、パラスポーツ体験講座等も盛り込んだ講座となりました。

今後、このセミナーで学んだ知識・スキルが外国語を学ぶ学生たちの役に立ち、スポーツを通じて世界の平和に貢献できるグローバル人材が多く輩出できることを心から願っています。



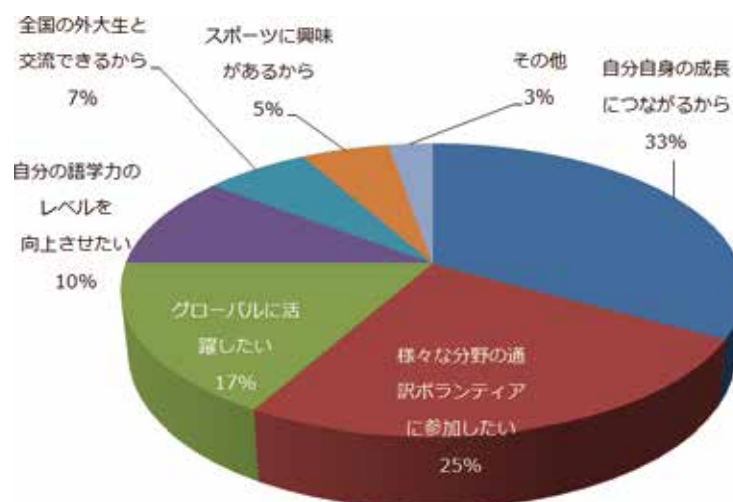
▲第5回通訳ボランティア育成セミナー集合写真

資料1 大学別の事前申込者数と受講者数（第1回～第5回）

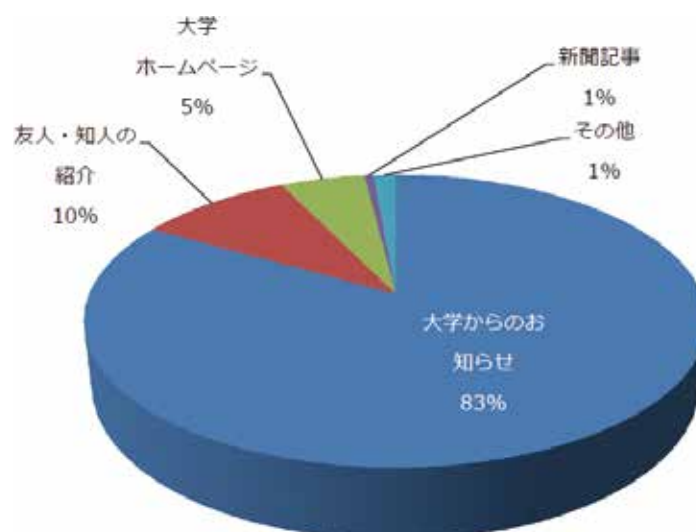
大学名	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	各大学 総受講者数
関西外国語大学	27	24	29	46	34	160
神田外国語大学	119	120	220	17	221	697
京都外国語大学	27	21	54	60	55	217
神戸市外国語大学	9	4	5	8	0	26
東京外国語大学	6	1	0	0	4	11
長崎外国語大学	21	13	29	11	22	96
名古屋外国語大学	27	14	30	36	20	127
回毎の受講者数	236	197	367	178	356	1,334

資料2 参加動機（第1回～第5回）

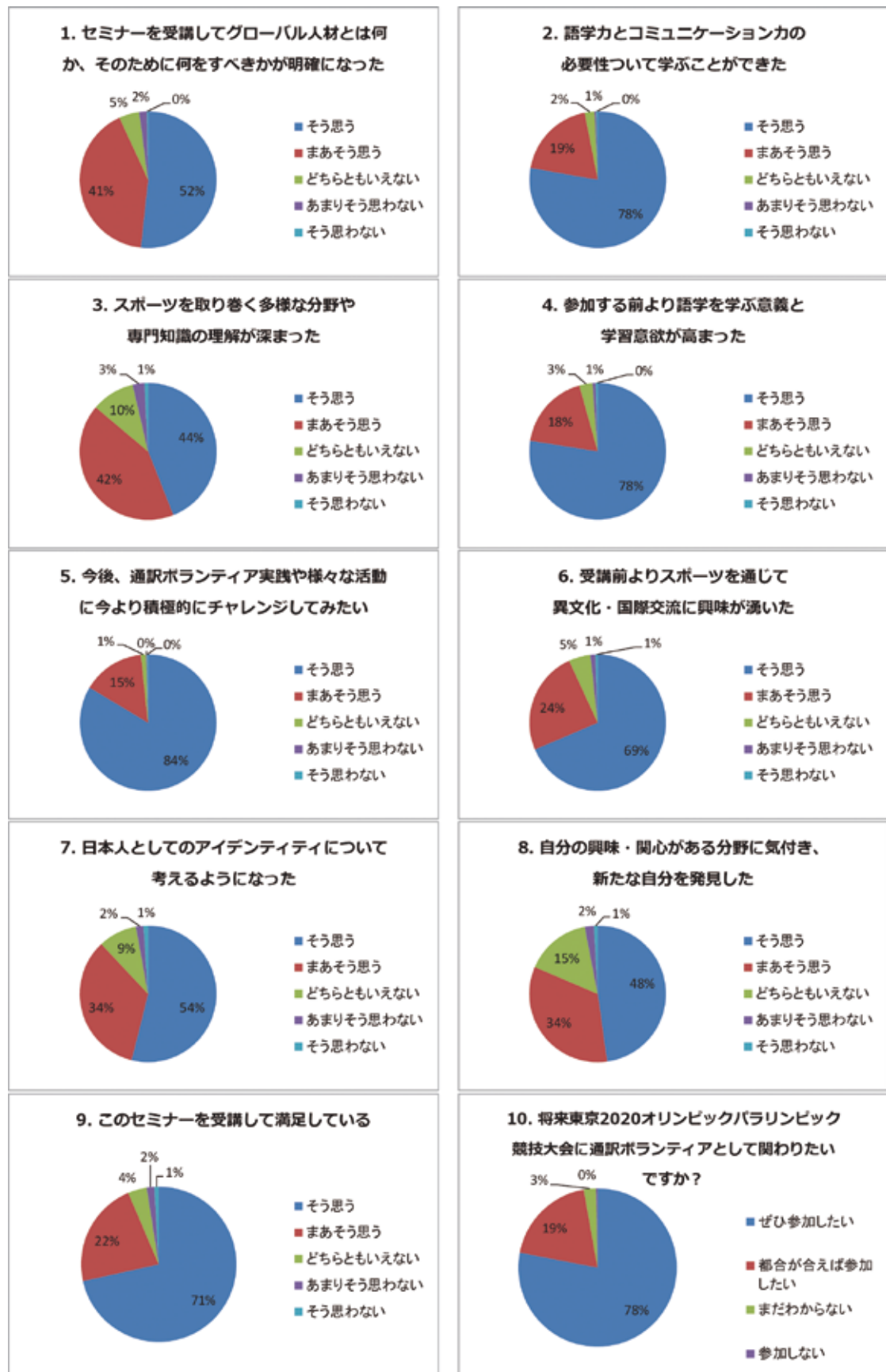
2-1 参加目的



2-2 参加へのきっかけ



資料3 参加後の自己評価（第1回～第5回）



回答者数：1,293人

全国外大連合による通訳ボランティアの取り組み

◆ 文部科学省 スポーツ・文化・ワールド・フォーラム（2016年10月）

10月20日(木)～21日(金)に東京都港区の六本木ヒルズ等で開催された、文部科学省等主催「スポーツ・文化・ワールド・フォーラム 東京プログラム」において、全国外大連合の学生39名（うち本学からは23名）が、運営サポートスタッフの一員として活躍しました。

このフォーラムは、ラグビーワールドカップ2019、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会、関西ワールドマスタースゲームズ2021等に向けて、観光とも連動させつつ、スポーツ、文化、ビジネスによる国際貢献や有形・無形のレガシー等について議論、情報発信し、国際的に機運を高めるためのキックオフイベントです。

本学から参加した23名の学生たちは、企業の製品体験ブースでの通訳や、要人アテンド、運営事務局のサポートに至るまで、いろいろな業務を経験しました。各国からの参加者の対応を通じて、語学力とともに改めて自国の文化や習慣を見つめなおす良い機会になりました。



主 催：文部科学省

日 程：2016年10月19日(水)～21日(金)

活動内容：国際会議（京都、東京）の運営補助

参加者数：39名

・ 関西外国語大学 2 名 ・ 神田外語大学 23 名 ・ 京都外国語大学 6 名
・ 神戸市外国語大学 2 名 ・ 名古屋外国語大学 6 名



▲レジストレーションでの通訳と案内



▲参加者は会場案内から企業通訳まで幅広く活動

■ 英米語学科 4 年（当時） 香取利沙さん

今回のフォーラムでは、大手電機メーカー付きの通訳として、営業の方の商品説明を英語で通訳する仕事を行いました。世界各国からの参加者が、私が通訳を担当した日本の電機メーカーが製造する、最新の顔認証システムに非常に興味を持ってくれました。企業の商品説明を担う通訳として、仕事をする上での「責任」の大切さと重さを感じながら業務を遂行することができました。事前準備をしっかりとすることで、聞き手に伝える内容を、自分なりに分かりやすく表現する工夫もできる様になると学びました。

また、フォーラムを通して一番印象的だったことが、各国の参加者たちが日本を学ぼうとする姿勢でした。参加者の多くが日本人に対して、しっかりとお辞儀で挨拶をしたり、日本文化や習慣を積極的に知ろうとしていました。この経験から、私は日本人としての自覚をきちんと持ち、外国語を学ぶ以前に、きちんとした日本語や礼儀作法を学ぶ必要があると考えさせられました。日本人として、礼儀や言葉遣いなどをきちんとすることで、それが外国人の持つ日本のイメージに直結するものだと思います。今回のボランティアは、語学力と共に、自分の国、文化・習慣を見つめ直す良い機会になったと思っています。

◆ 冬季アジア札幌大会（2017年2月）

「2017冬季アジア札幌大会」（2月19日（日）～2月26日（日））が、北海道札幌市、帯広市で開催され、全国大連合に所属する関西外国語大学、神田外語大学、京都外国語大学、神戸市外国語大学、長崎外国語大学、名古屋外国語大学の学生84名が通訳ボランティアとして活躍しました。

参加している学生たちは、各国のチーム付通訳、大会役員付通訳、運営局のサポート、練習・試合後の選手たちのケア、日常生活でのサポートなど、いろいろな役割を担いました。学生たちは全日程参加組、前半組（2月11日～）、後半組（2月19日～）に分かれて業務にあたりました。ボランティア活動を通して、語学力と共に、外国人選手との交流や業務の調整などから、異文化を理解することの大切さを学びました。

本大会には、アジア・オリンピック評議会に加盟するアジアの45の国と地域の中からエントリーがあった29の国と地域に加え、冬季アジア競技大会初参加となるオセアニア地域から、オーストラリアとニュージーランドがゲスト参加しました。

各国からの参加選手たちは、2018年に韓国で開催予定の世界的なスポーツイベントに向けた、前年の大会として最終調整を行っていました。



▲集合写真

主 催：第8回札幌アジア冬季競技大会組織委員会

日 程：2017年2月12日（日）～27日（月）

活動内容：NOCアシスタント（選手団サポート）

参加者数：84名

- ・ 関西外国語大学14名 ・ 神田外語大学41名
- ・ 京都外国語大学7名 ・ 神戸市外国語大学4名
- ・ 長崎外国語大学7名 ・ 名古屋外国語大学11名



▲韓国チーム付通訳 須藤一流さん



▲選手ホテル（アパホテル＆リゾート）内の様子

■国際コミュニケーション学科3年（当時）須藤一流さん

韓国チーム付通訳として、私が窓口となり洗濯、食事、交通手段の手配など、選手団の生活に必要なことは通訳業務を通して全てサポートを行いました。選手単独での要望よりも、韓国のNOCからの依頼を元に業務を行いました。通訳ボランティアの仕事には、外国人選手の方々が普段の生活で何を気にするのかなどを推測していく能力が求められます。これは言葉だけでなく、韓国の文化や生活習慣を理解しようとしないと出来ないことだと思っています。日本に来ていただいて気持ちよく生活をしてもらいたいという想いもありますが、日本にいる以上、外国の文化を通し続けることはできません。私は通訳として、日韓両国が良い関係を築けるように配慮し、選手たちに最高のパフォーマンスを発揮してもらえるように調整をすることが、一番のやりがいになっています。

◆2018平昌（ピョンチャン）冬季オリンピック通訳・運営ボランティアプログラム

主 催：2018平昌冬季オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

※2016年6月30日組織委と全国外大連合が提携のためボランティア協定を締結。

日 程：2018年2月1日(木)～26日(月)

活動内容：観客案内または交通誘導に関する通訳・運営ボランティアを予定。韓国語と英語、中国語、他言語通訳の学生らによるチームを作り、チームごとに活動する。

参加者数：100名

▲パンフレット



▲2017年9月11日(月)～12日(火)に実施された事前講座での萩原次晴氏と参加者集合写真

1. 大学別参加者内訳

大学名	人数
関西外国語大学	5
神田外国語大学	67
京都外国語大学	12
神戸市外国語大学	2
東京外国語大学	3
長崎外国語大学	4
名古屋外国語大学	7
参加者合計	100

2. 言語別

参加言語	人数
英語	45
韓国語	34
中国語	11
スペイン語	3
ポルトガル語	1
フランス語	3
ロシア語	1
イタリア語	1
ドイツ語	1
参加者合計	100

◆現地活動

2月1日(木)	韓国渡航
2月2日(金)～3日(土)	ボランティア研修(延世大学原州キャンパス)
2月4日(日)	UAC (Uniform and Accreditation Centre) にて活動前手続き・活動場所移動
2月5日(月)～25日(日)	各活動場所にて活動：イベントサービス／インフォメーションセンター／チケット
2月26日(月)	活動終了／帰国



▲ピョンチャン会場（普光フェニックスパークスキー場）



▲カンヌン会場（江陵スピードスケート競技場）



▲チョンソン会場（旌善アルペン競技場）

■参加学生の活動報告より

- ・通訳の難しさを思い知りましたが、これから更に自分の語学力を高めていきたいというモチベーションになりました。また、毎回初対面の外国人といかに円満にコミュニケーションをとるか悩んだりもしましたが、やはり自分から近づいていくことが必要だと分かりました。
- ・将来の目標が明確に決まっていなかった私にもスポーツに関わる通訳の仕事がしたいという目標ができ、それに向けて語学勉強をがんばりたいと思います。
- ・他大学との交流、外国人との交流を持つことができ、自分の人生に大きな影響を与えてくれました。人との交流の大切さや、皆で協力し大きなプロジェクトを成し遂げるチームワークの大切さを学ぶことができました。

地域貢献・国際交流ボランティア

地域貢献・国際交流ボランティアとは

学生は地域社会が抱える様々なニーズや課題を自ら発見することで、地域との協働意識を持ち、ボランティア体験を通して主体的、能動的に行動することを学びます。

「自分の足で立ち、 地域から世界までつながる」

国際コミュニケーション学科教授

和田 純



「ボランティア活動」というものが本質的に何を意味するのか、それを一言で語ることは簡単ではありません。考え方も活動内容も多種多様だからです。しかし、間違いなく言えるのは、あらかじめ誰かが用意したプログラムに応募して参加する形よりも、社会が何を求めているかを自分で見極め、自らの意思で立ち上がり、他人と連携しながら自力で創り上げていくボランティア活動の方が、より本来的だということです。

その意味では、「モノの寄付」「時間の寄付」「お金の寄付」の3つをフリーマーケットで連動させ、「誰もが気軽にできる社会貢献」をめざしてきた「幕張チャリティ・フリーマーケット＝幕チャリ」は、4人の学生が徒手空拳で始めた本来的なボランティア活動の好例です。幕張地域の活性化を目指し、同時に売り上げでアジアの人々の自立支援に役立とうという活動は、学内外で多くの支持を得て、13年も自主的に継承されてきました。生み出した寄付金はそろそろ2,000万円を超えようとしています。WEBでなんでも売って自分のお金に変えようとする風潮にもめげず、むしろ幕チャリの社会的な意義にこだわり続けてきた学生の姿には、ボランティア活動の原点を見る思いがします。

グローバル化の急速な進展の中で、「国内」と「国際」は明確に区別できなくなっています。地域への貢献から世界への貢献へとつながる視座をもつことで、学生ボランティアはもっと躍動的なものとなり、その可能性は無限だと感じます。

主な実績

◆レッドブルエアレース運営補助ボランティア



2017年6月3日（土）、4（日）に「レッドブルエアレース千葉2017」が幕張海浜公園にて開催され、在学生39名が参加しました。在学生は、千葉市観光案内ブースで観光案内冊子を配布したり、会場案内、ごみ分別案内等の運営補助ボランティアとして大事な役割を担いました。

レッドブルエアレースは国際航空連盟（FAI）公認の飛行機レース世界選手権で、全8戦の第3戦目である「レッドブルエアレース千葉2017」には、世界トップクラスのレースパイロット14名が参加しました。2017年度は、室屋選手が、地元日本の大会で2年連続優勝を果たしました。

◆「台湾大学生モニターツアー」アテンドボランティア



2017年8月6日（日）、7日（月）に千葉県主催の「台湾大学生モニターツアー」が実施されました。在学生5名は台湾から招請された8名の大学生に同行し、電車の乗り方などのフォローを行ったり個人旅行のアドバイスをしたりしました。

また、千葉県の観光の見所や観光についての意見交換会・交流会にも参加しました。交流会では、意見交換会とは違った雰囲気の中、歓談しながら同世代の大学生同士の交流も図ることができ、千葉県の魅力を存分に伝えることができました。

◆幕張南小学校ニュージーランド交流会通訳ボランティア



2017年9月22日（金）千葉市立幕張南小学校にて、ニュージーランドと幕張南小学校の子供達との交流会が行われ、30名の在学生が通訳ボランティアとして参加しました。本学からのボランティアとしての参加は2017年で18年目になります。交流会にはニュージーランドからの留学生約50名が参加し、日本とニュージーランドの文化交流をしました。

在学生は日本の小学生とニュージーランドからの留学生との間の架け橋となり異文化交流をサポートしました。

幕張チャリティ・フリーマーケット

本学の学生ボランティア団体『CUP=Create Universal Peace』が主催者となって企画・運営し、大学全体が協働するチャリティイベントで、「幕チャリ」の愛称で親しまれています。2005年にスタートし、教職員・地域住民・地域団体・企業・自治体・NGOなど多岐にわたるセクターと連携して、地域活性化と社会貢献・国際協力が目指されてきました。

幕チャリのモットーは「みんなで半歩踏み出す」。一步は難しくても半歩なら誰でも踏み出せる—そうした力を結集し、「楽しみながら誰もが気軽にできる社会貢献」を続けて、幕チャリではすでに2,000万円近くの寄付金を生み出してきました。この寄付金はアジア各地の自立支援や、東日本大震災復興支援などに役立てられてきています。



▲フリーマーケットの様子



▲フラメンコの演舞



▲学生団体のテント出店



▲カンボジア視察グループとACT事務局スタッフ

幕張チャリティ・フリーマーケット2005年～2017年度実績

年度	日程	売上等総額	寄付金	寄付先	応援販売
2005	5月21日(土) 22日(日)	101万円	100万円	全国盲導犬施設連合会	なし
2006	5月20日(土) 21日(日)	80万円	65万円	公益信託 「アジア・コミュニティ・トラスト (ACT)」	なし
2007	5月19日(土) 20日(日)	130万円	130万円	公益信託 「アジア・コミュニティ・トラスト (ACT)」	なし
2008	5月17日(土) 18日(日)	202万円	202万円	公益信託 「アジア・コミュニティ・トラスト (ACT)」	なし
2009	5月16日(土) 17日(日)	184万円	184万円	公益信託 「アジア・コミュニティ・トラスト (ACT)」	なし
2010	5月15日(土) 16日(日)	151万円	151万円	公益信託 「アジア・コミュニティ・トラスト (ACT)」	なし
2011	5月21日(土) 22日(日)	205万円	205万円	神田外語グループ東日本大震災復興支援プロジェクト	なし
2012	5月19日(土) 20日(日)	217万円	107万円	公益信託 「アジア・コミュニティ・トラスト (ACT)」	107万円
2013	5月18日(土) 19日(日)	150万円	110万円	公益信託 「アジア・コミュニティ・トラスト (ACT)」	40万円
2014	5月17日(土) 18日(日)	128万円	75万円	公益信託 「アジア・コミュニティ・トラスト (ACT)」	53万円
2015	5月23日(土) 24日(日)	132万円	82万円	公益信託 「アジア・コミュニティ・トラスト (ACT)」	43万円
2016	5月29日(日)	71万円	28万円	公益信託 「アジア・コミュニティ・トラスト (ACT)」	21万円
2017	5月27日(土)	43万円	25万円	公益信託 「アジア・コミュニティ・トラスト (ACT)」	6万円

※2016年度は熊本地震への緊急支援として221,214円を日本赤十字社義捐金及び日本財団ボランティア活動資金へ寄付

※2017年度は熊本地震復興支援として122,335円を熊本県益城町に寄付

※幕チャリでは、秋の学園祭「浜風祭」でも小規模なフリーマーケットを開催し、これまでに約80万円をACTに寄付しています。

東日本大震災復興支援プロジェクト 2011年度～2017年度の記録

はじめに

神田外語グループでは、復興支援プロジェクトの一環として、英語をはじめとする外国語の運用能力において高い評価を頂戴している神田外語大学・神田外語学院の学生が被災地を訪問し、英語教育活動を支援しています。

2011年の活動から今年で8年目を迎える東日本大震災復興教育ボランティア（以下、復興教育ボランティア）は、英語教育活動を通して、被災地の子供たちに英語を楽しく学んでもらい、継続して被災地を訪れることで震災を風化させないことを目的に活動しています。2017年度は、復興支援団体「MAKE SMILE」を中心として、宮城県亘理町の7ヶ所の児童館で神田外語大学生26名が活動をしました。



▲荒浜地区にて語り部ツアー



▲津波到達地点表示



▲津波襲来の地表示



▲英語アクティビティの様子

2011年度

実施日	プロジェクト名	場所	参加人数
5/21、22	東日本大震災復興支援緊急募張チャリティ・フリーマーケット ※応援買い：天栄村出店（物産直販）	神田外語大学	3,800
5月下旬～ 7月中旬	英語教育活動の支援ボランティア	千葉県旭市小学校	6
7/20	シンポジウム 「3.11東日本大震災を考える—私たちに何ができるだろうか」	神田外語大学	80
8/9～11	宮城県：亘理町の児童館における英語教育活動の支援	宮城県：亘理町	16
8/22～26	宮城県：東松島市の浜市小学校、仮設住宅における活動支援	宮城県：東松島市	20
8/30～9/1	宮城県：女川町の仮設住宅における活動支援	宮城県：女川町	15
9/5～7	福島県：三春町の小学校における英語教育活動の支援	福島県：三春町	6
9/6～9	宮城県：南三陸町歌津中学校での教育支援ボランティア	宮城県：南三陸町	21
9/12	第1回東日本大震災復興ボランティア報告会	神田外語大学	—

※応援買い：募チャリでは「3.11を忘れない」を合言葉に震災復興支援を継続するため、地域の産品を積極的に購入することで被災地の生活再建、産業復興、雇用拡大を支援するという意味を含めた東北物産展エリアを展開しています。

2012年度

実施日	プロジェクト名	場所	参加人数
5/19、20	第8回募張チャリティ・フリーマーケット ※応援買い：福島県天栄村、ブリティッシュヒルズ、石巻元気復興センター、和田ゼミ社会起業研究会、稲毛商店街振興組合、(株)街づくりまんぼう、Power of Japan	神田外語大学	2,300
8/7～11	宮城県：亘理町の児童館における英語教育活動の支援	宮城県：亘理町	13
8/28～31	宮城県：東松島市の浜市小学校、仮設住宅における活動支援	宮城県：東松島市	8
9/2～5	福島県：三春町の小学校における英語教育活動の支援	福島県：三春町	9
11/7	第2回東日本大震災復興教育ボランティア報告会	神田外語大学7号館2F クリスタルホール	—

2013年度

実施日	プロジェクト名	場所	参加人数
5/18、19	第9回募張チャリティ・フリーマーケット ※応援買い：福島県天栄村、ブリティッシュヒルズ、石巻元気復興センター、和田ゼミ社会起業研究会	神田外語大学	2,800
6/19、21	東日本大震災復興教育ボランティア説明会	神田外語大学	264
8/5～9	宮城県：亘理町の児童館における英語教育活動の支援	宮城県：亘理町	39
9/1～5	福島県：三春町の小学校における英語教育活動の支援	福島県：三春町	17
11/7	第3回東日本大震災復興教育ボランティア報告会・講演会	神田外語大学7号館2F クリスタルホール	30

2014年度

実施日	プロジェクト名	場所	参加人数
5/17、18	第10回幕張チャリティ・フリーマーケット ※応援買い：福島県天栄村、ブリティッシュヒルズ、石巻元気復興センター、和田ゼミ社会起業研究会、社会福祉法人はたまき・手づくりの里、株式会社一松商店	神田外語大学	2,000
5/17、18	MAKE SMILE～こども英語プロジェクト～ ⇒近隣の小学生を対象に行った英語アクティビティと被災地のパネル展示	神田外語大学 芝グラウンド	56
8/4～8	宮城県：亘理町の児童館における英語教育活動の支援	宮城県：亘理町	40
8/31～9/5	福島県：三春町/天栄村の小学校における英語教育活動の支援	福島県：三春町 天栄村	17
11/1、2	浜風祭での活動紹介パネル展示	神田外語大学	106
11/11	第4回東日本大震災復興支援ボランティア報告会（福島県三春町・天栄村）	神田外語大学	21
11/12	第4回東日本大震災復興支援ボランティア報告会（宮城県亘理町）	神田外語大学	32

2015年度

実施日	プロジェクト名	場所	参加人数
5/23、24	第11回幕張チャリティ・フリーマーケット ※応援買い：福島県天栄村、ブリティッシュヒルズ、石巻元気復興センター、和田ゼミ社会起業研究会、社会福祉法人はたまき・手づくりの里、株式会社一松商店	神田外語大学	2,400
8/3～7	宮城県：亘理町の児童館における英語教育活動の支援	宮城県：亘理町	33
8/30～9/4	福島県：三春町／天栄村の小学校における英語教育活動の支援	福島県：三春町 天栄村	18
10/31、11/1	浜風祭での活動紹介パネル展示	神田外語大学	120
11/16	第5回東日本大震災復興支援ボランティア報告会（福島県三春町・天栄村）	神田外語大学	20
12/1	第5回東日本大震災復興支援ボランティア報告会（宮城県亘理町）	神田外語大学	28

2016年度

実施日	プロジェクト名	場所	参加人数
5/29	第12回幕張チャリティ・フリーマーケット ※応援買い：福島県天栄村、ブリティッシュヒルズ、石巻元気復興センター、和田ゼミ社会起業研究会、社会福祉法人はたまき・手づくりの里、株式会社一松商店	神田外語大学	1,350
8/1～5	宮城県：亘理町の児童館における英語教育活動の支援	宮城県：亘理町	19
8/30～9/2	福島県：天栄村の小学校における英語教育活動の支援	福島県：天栄村	20
10/14	第6回東日本大震災復興支援ボランティア報告会（福島県三春町・天栄村）	神田外語大学	21
10/17	第6回東日本大震災復興支援ボランティア報告会（宮城県亘理町）	神田外語大学	32
10/29、30	浜風祭での活動紹介パネル展示	神田外語大学	150

2017年度

実施日	プロジェクト名	場所	参加人数
5/27	第13回幕張チャリティ・フリーマーケット ※応援買い：ブリティッシュヒルズ、石巻元気復興センター、和田ゼミ社会起業研究会、社会福祉法人はたまき・手づくりの里、株式会社一松商店	神田外語大学	1,400
7/31～8/4	宮城県：亶理町の児童館における英語教育活動の支援	宮城県：亶理町	28

2017年度宮城県亶理町ボランティア詳細

2017年7月31日（月）～8月4日（金）の5日間、在学生26名が宮城県亶理町にある7つの児童館で復興教育ボランティアを行いました。2017度は参加人数も増加したことから亶理町中央児童センター、逢隈児童館、荒浜児童クラブ、高屋児童クラブ、吉田児童クラブ、吉田西児童クラブに加えて、新たに中町児童クラブでも活動することができました。各児童館での英語教育ボランティア前に、震災語り部の会ワタリに参加し、震災当時の映像を見たり、お話しをお伺いしたりしながら荒浜地区を訪問し事前学習をしました。震災復興支援サークルMAKE SMILEが中心となり資金集めから企画・学生募集・ボランティア当日の運営を担っているため、2017年度より助成金の申請を開始し、今までの活動の功績が評価され3つの外部団体より助成金をいただくことができました。

今後もより一層亶理町や児童館との連携を深め、継続支援につなげていきたいと考えています

日 程	7月31日（月）～8月4日（金）
場 所 宮城県亶理町	亶理町中央児童センター、逢隈児童館、荒浜児童クラブ、高屋児童クラブ、 吉田児童クラブ、吉田西児童クラブ、中町児童クラブ（新規）
参加者	26名 ※震災復興支援団体MAKE SMILEが企画・学生募集 プログラム運営・手配・管理・助成金申請まで中心的に担った
外部助成金 (MAKE SMILEの 助成金採用実績)	日本財団学生ボランティアセンター Gakuvo Style Fund2016 10万円
	Yahoo!基金 夏休み「学生ボランティア」被災地復興活動支援助成プログラム 20万円
	一般社団法人東京キワニスクラブ 第33回「東京キワニスクラブ青少年教育賞優秀賞」 10万円
	学内助成金 15万円

活動の記録



▲2階以上に教室を設置した亘理町立荒浜中学校



▲津波に流された船



▲活動の様子



▲亘理町副町長訪問の様子



▲東京キワニスクラブ助成金授賞式の様子①



▲東京キワニスクラブ助成金授賞式の様子②

ふくしまサクラモリプロジェクト

「ふくしまサクラモリプロジェクト」とは、福島県の「さくら」を国内外の至るところで咲かせ、そして守り「ふくしま」を身近に感じていただくと同時に、多くの街と福島・東北を繋ぐ「絆」を築くことを目的に設立したプロジェクトです（主催：一般社団法人 福志会）。内藤慎介氏（株式会社NHKエンタープライズ）が本学で講演会および震災復興に関するドキュメンタリー映画上映会を開催したことを機に本学もプロジェクトに参加させていただくことになりました。2015年の夏には、3名の本学学生が同志社大学の学生1名と一緒に福島県の震災状況の視察に参加しました。学生は、今なお風評被害の影響を受けている地域を視察し、福島の復興のためになにか力になれないかと動き出しています。今後は、本学の復興教育のボランティア団体「MAKE SMILE」のプロジェクトの一環として、活動していく予定です。

福島は、あなたに、どのように映っていますか？
～映像を通して、景色を感じて欲しい～

**NHK大河ドラマ「八重の桜」プロデューサー
内藤 慎介氏 講演&映画上映会**

日時 6月30日(火)
16:30~19:00
場所 神田外語大学
クリスタルホール

●講演者
内藤 慎介氏(ないとう しんすけ)
(株)NHKエンタープライズ
制作本部・ドラマ番組部
エグゼクティブ・プロデューサー

演出作品
連続テレビ小説「和つの金メダル」「京、ふたり」「ええによぼ」、
大河ドラマ「八代将軍吉宗」ほか、特集ドラマ「とおせんぼ」

プロデュース作品
連続テレビ小説「オードリー」「どんと晴れ」、大河ドラマ「天地人」(エランドール賞、エランドールプロデューサー賞)
金曜時代劇「春が来た」、連続ドラマ「真夜中は別の顔」「女将になります!」「ブルーもしくはブルー」、特集ドラマ「シェンガード」「生き残り」「さよなら、アルマ〜糸織をもらった犬〜」ほか
大河ドラマ「八重の桜」、ドキュメンタリー「桜を奏でて」「LOVE, SING〜生きて、愛して、歌うこと〜」木曜時代劇「かぶき者慶次」など

企画：佐野学園法人本部
主催：神田外語大学 ボランティアセンター

**申込み不要
参加無料**

さくらを愛する人
桜を愛する人
桜を愛する人

▲講演・映画上映会ポスター



▲福島視察の様子②



▲福島視察の様子①



▲卒業記念植樹にてふくしまさくら植樹

東北の新月学内上映会

映画鑑賞会（一部）
監督による解説つき

東北の新月

A NEW MOON OVER TOHOKU

日系カナダ人映画作家が見た災害と被災者住民の心の快復の記録
監督：リンダ・オオハマ / ナレーション：草刈 民代

日時 12月19日（火）16:30～18:30

場所 5号館ミレニアムハウスホール

チケット不要・参加無料

16:10	入場開始
16:30	リンダ・オオハマ監督舞台挨拶 （紹介・通訳：英米語学科准教授矢頭典枝）
16:40	映画部分上映、解説
17:30	トークセッション
18:00	休憩
18:05	MAKE SMILE活動報告
18:30	終了

リンダ・オオハマ監督と映画に出演している
佐々木星瑛来さん（本学職員/2014年英米語学科卒業）も交え、今回の映画制作についてお話を伺います。

共催 神田外語大学ボランティアセンター
復興支援団体 MAKE SMILE



2017年12月19日（火）にボランティアセンターとMAKE SMILE共催の「東北の新月」学内上映会を実施しました。「東北の新月」は、2011年に起きた東日本大震災による被害を受けた宮城、岩手、福島各沿岸の市町村で、日系カナダ人の映画作家・リンダ・オオハマ氏が2年半以上にわたる取材を経て2016年に制作した、ドキュメンタリー映画です。

当日は映画の部分鑑賞や、リンダ・オオハマ監督、映画に出演している佐々木星瑛来さん（本学職員/2014年英米語学科卒業）、英米語学科教授の矢頭典枝先生、そして学生の復興支援団体MAKE SMILEも交え、今回の映画制作についてお話を伺いました。学内外より50名以上の方々にお越しいただき、東日本大震災について改めて考えさせられる上映会となりました。

上映会の後半では、本学復興支援サークルのMAKE SMILEからの活動報告があり、震災当時から継続している宮城県亘理町での東日本大震災復興教育ボランティアについて、「神田外語大学の学生だからできること」を考える貴重な機会となりました。

参加学生の声

MAKE SMILE 前代表
英米語学科・4年
松澤 明日香



今年のボランティアを企画・運営している時、このボランティアの活動目的を模索していました。私たち MAKE SMILE は今まで英語アクティビティを行うとともに心のケアを行うことを目的として活動してきました。しかし、震災から6年が経った今、心のケアが目的ならば対象学年は中学生以上じゃないのかという声もありました。

実際現地へ行ったら、昨年同じクラスだった子どもたちは「あー！また来たー！」と笑顔で迎えてくれました。1年前たった5日間しか過ごしていないにもかかわらず覚えていてくれたことにとても感動しました。職員の方々からは「皆さんが来てくれると、子どもたちがものすごく笑顔になる。その笑顔を見ることで私たちは幸せになります。」というお言葉や、毎年お世話になっている旅館の方々からは「毎年毎年皆さんと会えることが楽しみで、この仕事を死ぬまでずっと続けようと頑張れる。孫のような大切な存在です。」という素敵なお言葉を頂きました。この言葉を聞いて、私たちは子どもたちだけではなく、職員の方々や旅館の方々の心のケアも出来ているのだなと実感しました。このように思っただけなのは、このボランティア活動を続けてきたからこそ成り立つものです。この活動をすることで、携わってくださった方々との「人と人とのつながり」ができます。そして、継続して行うことで「心と心とのつながり」ができ、さらに継続していくことでこのつながりは強く深くなります。

このようなつながりの素晴らしさを知り、今思う人生で1番大切なことは「周りの人々を大切にすること」です。いつまた震災が起きるか分からない。いつこのつながりが消えるか分からない。つまり、当たり前のことは当たり前ではなくて、ずっと続くものではありません。だからこそ、今過ごしているこの日常に、そして、支えてくれている周りの人々への「感謝の気持ち」を忘れてはいけなかったと感じました。このボランティアに3年連続参加したからこそ、このとても大切なことに気付くことができました。

国際協力・国際開発ボランティア

国際協力・国際開発ボランティアとは

国際教育交換協議会（CIEE）^{注1}のボランティアプログラムを通して夏季・春季に海外でのボランティア活動を行っています。このプロジェクトでは、言語や文化の異なる人々と協力しながら活動する中で「世界の諸問題に目を向け、問題解決に向けて主体的に行動する力」と「国際社会で通用するコミュニケーション能力」を養います。海外でのボランティア活動を通して、幅広い視野を持つグローバル人材の育成を目指します。

注1) 国際教育交換協議会とはアメリカに本部を持つ非営利教育団体です。

「TOEFLテスト日本事務局」としてTOEFLテスト公式情報を発信しています。

※単位認定科目

「国際ボランティアプロジェクト」に2週間以上参加した学生に対し、4つの課題をこなすことを条件に「国際ボランティア体験」という科目名で、2単位を認定しています。

「Give and Take、 与えるものと得るもの」

イペロアメリカ言語学科准教授
(CIEE海外ボランティア単位認定教員)

高 木 耕



国際協力の世界でよく使われる表現に「魚を与えるのではなく魚の釣り方（捕り方）を教える」というものがあります。大学教育も似たようなものであり、学生は教室で学んだことを自ら実践して経験を積まなければなりません。義務教育が「道具箱を道具でいっぱいにする期間」であるとするならば、大学の4年間はまさに「その道具を使って何ができるのかを学ぶ期間」であると言えます。

国際ボランティアは、外国を知り、外国人と交流し、異文化に触れる絶好の機会となっています。多くの学生は「自分には何ができるのか」を自問自答し、時には行動を起こすことに躊躇します。たしかに、経験がそれほど豊富でない人にできることは限られているでしょう。しかし、魚はそれを捕りにいかなければ手に入れることはできないのです。だれかが何かを始めなければ世界は変わりません。

外国へ行って初めて見えてくるものがあります。多くの学生が、「国際ボランティアを通じて与えられたことよりも得られたことのほうが多い」と言います。社会貢献の仕方を学び、実践し、実践を通じてまた学ぶ。こうした成長を日々続けていくことは意味のある生き方であると思います。まず、「自分にできること」を見つけ、徐々にできることを増やしていきましょう。

主な実績

◆ 国際ボランティアプロジェクト（オランダ、メキシコ、アイスランド、ドイツなど）



オランダで、植林活動や森林公園の保全などの環境保護活動や古城の修復、ペンキの塗り替え、地域イベントの企画・運営を行いました。

1プロジェクト15名前後で構成され、ドイツ、スペイン、韓国、トルコ、ポルトガルなど様々な国から集まったボランティアとともに共同生活をしながら、活動を実施しました。

◆ 教師アシスタントボランティア（アメリカ）



教師アシスタントとして現地でホームステイをしながら、小学校にて教材準備のお手伝いや授業中の児童のサポートを行いました。授業の中で、1時間ほど時間をもらい、日本の文化や言語の紹介をしました。子供達は日本の文化に興味津々で、自ら鶴の折り方などを聞いてくる子供もいました。

◆ 日本語教師アシスタント（インドネシア）



インドネシアの高校で、ホームステイをしながら日本語クラスで日本語や日本の文化を教えました。高校だけではなく現地の大学においても「異文化理解」の授業内で、日本についてのプレゼンテーションを実施し、日本の現代文化などを中心に教えました。

◆ 地域サポートボランティア（カナダ）



カナダのバンクーバーでホームステイをしながら、低所得者向けの食糧支援施設で地域サポートを行いました。活動内容は、食糧の陳列、値札貼り、接客、食糧の廃棄などの作業です。現地でのコミュニケーションは全て英語で、施設の従業員の方たちに優しくフォローしていただきながら、活動を進めることができました。

ホノルルフェスティバル運営補助ボランティア

ハワイのホノルルで開催されているホノルルフェスティバル（株式会社JTB主催）の運営ボランティアとして2016年3月より在学生が参加しています。ホノルルフェスティバル内での教育プログラム運営補助、縁日ブース設営・運営補助、ホノルルレインボー駅伝運営補助など様々な役割を担い、学生の力でホノルルフェスティバルを盛り上げています。

(URL <http://www.honolulufestival.com/ja/>)

※ホノルルフェスティバルとは…？

「パシフィック・ハーモニー」をテーマに、「異民族の文化交流によって平和的な生き方を模索する」ことを目的とした、毎年3月に開催されるハワイ最大級の国際的な文化交流イベントです

年 度	日 程	参加者
2015年度	3月6日(土)～16日(水)	5名
2016年度	3月7日(火)～15日(水)	9名
2017年度	3月6日(火)～14日(水)	5名



▲ボランティア学生集合写真



▲ハワイの雰囲気

Honolulu Festival Volunteer Tourism Program tour

ホノルルフェスティバルとは・・・

「パシフィック・ハーモニー」愛知会場をテーマに、「異民族の文化交流によって平和的な生き方を模索する」ことを目的としたホノルル フェスティバルは、今回第24回目を迎えます。さらに多くの国々・様々な民族の文化に触れ合い、理解しあうことで、世界がひとつの家族のようになっていくよう、多種多様な交流空間を提供させていただきます。今ツアーは、フェスティバルの参加者ではなく、運営ボランティアスタッフとして参加し、貴重な経験を通して自らをステップアップさせ視野を広げることができま

写真はイメージ

月日	地名	現地時間	交通機関	行程	食事
3/6 (火)	成田空港発 ホノルル着	18:30~ 22:00	JL/DUKE CI/UA/NH HA	空路ホノルルへ	機中200 円 ドリンク
3/7 (水)	ホノルル	07:00~ 10:55	専用車	着後、ホテルへ移動となります。	・ホノルル泊
3/7 (水)	ホノルル	午後 夜		【プログラムアリーフ】滞在中のスケジュールのご案内 【オリエンテーション】ホノルルステイバイトは(講義) 【ENGLISH LESSON】すぐ使える英会話講座 【ボンチャア参加者交流ディナー】	機・昼 食・0 ドリンク
3/8 (木)	ホノルル	午後 前後		【ハワイの歴史を学ぶ】ハワイの文化・歴史について学ぶ 【社内MTG参加】ホノルル・レイホーボーン駅近アロハリブス コンベンション最終ミーティング参加	機・昼 食・0 ドリンク
3/9 (金)	ホノルル	終日		 ホノニウア・ツーリズムプログラム ホノニウア・ツーリズムプログラムは、ホノニウア・ツーリズム協会主催の「ホノニウア・ツーリズム」の発展を目的とした、観光客の滞在体験を向上させるためのプログラムです。	機・昼 食・0 (持込) ドリンク
3/10 (土)	ホノルル	終日		★ステージパフォーマンス音楽鑑賞催儀 地元のハワイの学生と一緒に出演イベントに参加。生きた英語を学べる貴重な機会です。 ★ホノニウア・ツーリズム協会主催 ホノニウア・ツーリズム協会の主催で、ホノニウア・ツーリズムの発展を目的とした、観光客の滞在体験を向上させるためのプログラムです。 ★ホノニウア・ツーリズム協会主催 ホノニウア・ツーリズム協会の主催で、ホノニウア・ツーリズムの発展を目的とした、観光客の滞在体験を向上させるためのプログラムです。	機・昼 食・0 (持込) ドリンク
3/11 (日)	ホノルル	終日		★ホノニウア・ツーリズム協会主催 ホノニウア・ツーリズム協会の主催で、ホノニウア・ツーリズムの発展を目的とした、観光客の滞在体験を向上させるためのプログラムです。 ★ホノニウア・ツーリズム協会主催 ホノニウア・ツーリズム協会の主催で、ホノニウア・ツーリズムの発展を目的とした、観光客の滞在体験を向上させるためのプログラムです。	機・昼 食・0 (持込) ドリンク
3/12 (月)	ホノルル	午後		【振り返りミーティング/報告会】 終了報告会/社員交流会/修了証授与	機・昼 食・0 ドリンク
3/13 (火)	ホノルル ホノルル発	09:00~ 15:30	ANA CI/UA/NH HA	空港へ 空路成田へ	機・昼 食・200 円
3/14 (水)	成田空港着	12:30~ 19:00		通関商、解散。お疲れ様でした。	

ボランティアセンター主催プログラム

大覚寺プログラム

嵯峨天皇の離宮として建立されて1200年以上、絶えず歩みつづけてきた由緒あるお寺で、お寺の生活を体験しながら、朝のお勤めから始まり、生け花、写経、お抹茶体験や寺院の案内など様々な体験を通して日本文化を学ぶプログラムを2016年より開始しました。京都外国語大学講師による京都学講座や僧侶との意見交換で日本文化についてより理解を深めることができます。また、語学力を生かした実践の場として、大覚寺にいらした海外のお客様へ英語を中心とした多言語で、寺院のご案内をする通訳ボランティア体験ができる人気プログラムです。

日 程	2017年8月22日(火)～24日(木)
場 所	京都府 旧嵯峨御所 大本山大覚寺
参 加 者	12名 ※申込み28名
協 力	大覚寺の皆様、京都外国語大学 村山先生、大覚寺プログラム学生部
プログラム	京都学講座（新規）、京菓子づくり（新規）、僧侶との意見交換会（新規）、通訳ボランティア体験、抹茶体験、生け花体験、お寺の生活体験、写経体験



▲京都学講座



▲通訳ボランティアの様子



▲京菓子づくり体験



▲集合写真



▲写経体験



▲大覚寺の雰囲気

JICAボランティアセミナー

ボランティアセンターは、国際協力や国際開発について考えるきっかけづくりとしてのJICAボランティアセミナーを実施しています。セミナーでは、協力隊事業の概要説明や現役学生及び神田外語大学卒業生の協力隊経験者による体験談も話してもらいます。

日 程	内 容
2016年 6月30日	・ 青年海外協力隊概要説明（公益社団法人青年海外協力協会） ・ 日系社会ボランティア事業概要説明（公益社団法人青年海外協力協会） ・ 卒業生による体験談 押野成子氏（エルサルバドル／村落開発普及）
7月 7日	・ 現役KUIS生による体験談 佐久間大樹氏（ジンバブエ／野球（短期）） ・ 卒業生による体験談 野口真理氏（エジプト・モロッコ／PC教育） 北島すみれ氏（キルギス／村落開発普及員）
1月16日	・ 青年海外協力隊概要説明（公益社団法人青年海外協力協会） ・ 卒業生による体験談 境健太氏（トンガ／日本語教師）
2017年 6月 8日	・ 青年海外協力隊概要説明（公益社団法人青年海外協力協会） ・ 卒業生による体験談 中村由香氏（ニカラグア／青少年活動）
12月18日	・ 青年海外協力隊概要説明（公益社団法人青年海外協力協会） ・ 卒業生による体験談 尾崎想氏（インド／コミュニティ開発）

JICAボランティアセミナー

～世界に笑顔ひろげるシゴト～

6/8(木)
16:30～18:00
@3-302

いつか世界を変える力になる。

【日時】6月8日(木) 16:30～18:00
【会場】神田外語大学 3-302
【当日プログラム】
16:30-16:50 JICAボランティア事業概要
16:50-17:40 協力隊経験者 体験談発表
17:40-18:00 質疑応答

青年海外協力隊経験者が体験談を語り、国際協力や国際交流について考えるきっかけにしたいセミナーです。JICAボランティア事業に関心を持っている方から、あまり知らないという方まで、お気軽にご参加ください。協力隊経験者が皆さんの疑問にお答えします！

体験談発表者

中村 由香 氏

職 種：青少年活動

派遣国：ニカラグア

神田外語大学 英米語学科 2007年卒業、英語教員免許取得。
学生時代には一人で各国のボランティア活動に参加（インドネシア、ケニア、カンボジア、フィリピンなど）。卒業後はイギリスのホテル勤務、日本ではスポーツジムのインストラクターや英会話学校の講師などをを経て協力隊に参加（ニカラグア／青少年活動）。帰国後神田外語大学に入学し、スペイン語の教員免許を取得。2012年から鎌倉女子大学、2016年からは松戸国際高校にて勤務。



JICAボランティアセミナー

～僕たちにできることは必ずある～

青年海外協力隊経験者の体験談、事業の仕組みについての説明を通して、国際協力や国際交流について考えるきっかけにしたいセミナーです。
【参加までの流れ】「申し込み」→「事前研修」→「派遣先」→「帰国後」
JICAボランティア事業に関心を持っている方から、あまり知らないという方まで、お気軽にご参加ください！
2週連続開催。6月30日（木）は協力隊事業の概要説明をメインに、7月7日（木）は現役KUIS生及びKUIS生OB/OGの協力隊経験者による体験談。

2週連続 開催日時：6月30日（木） 16:30～18:00
7月 7日（木） 16:30～18:00

会場 神田外語大学 4-302教室
対象 学内希望者 ※国際協力・JICAボランティアに関心のある方ならば、どなたでもご参加頂けます。
内容 6月30日（木） 青年海外協力隊事業概要説明、JICAボランティア経験者による体験談
7月7日（木） 現役KUIS生及びKUIS生OB/OGの協力隊経験者による体験談
協力 高木耕先生・ボランティアセンター

「参加申込み」 Campus WEB[お知らせ]からお申込みください。
※お申し込みは先着順ですが、定員満員の都合上、事前にお申込みください。

ボランティア参加証授与式

2016年度より、ボランティアに参加した学生を対象にボランティア参加証授与式を挙行しています。毎年100名以上の在学生在が一堂に会し、ボランティアセンターより、感謝と激励の気持ちを込めてひとりひとりの学生に参加証を授与します。「スポーツ通訳・国際大会」「地域貢献・国際交流」「国際協力・国際開発」の各分野から代表学生が登壇し、ボランティアを通しての自己成長や人々との繋がり大切さなど、それぞれの経験談を交えながら、ボランティアへの熱い想いを語ってくれました。

日 程	場 所	参加人数
2017年1月23日(月)	クリスタルホール	107名
2018年1月23日(火)	クリスタルホール	110名



▲ボランティア参加証



▲地域貢献・国際交流ボランティア表彰 (松本真奈さん)



▲集合写真

ファシリテーション講座

2016年7月に学生ボランティア団体の代表・副代表向けにファシリテーション講座を実施しました。

特定非営利活動法人日本ファシリテーション協会の森田悟氏、岡田妙氏に講師としてお越しいただき、2回に分けてワークショップを実施しました。1回目にファシリテーションの基礎を学び、2回目には実践として学生自らファシリテーターの役割を体験しました。所属団体のミーティングの際にどのように部員の意見を引き出すか、どのようにまとめていくか、合意形成を図るかなど様々なスキルを体感できる非常に有意義な研修となりました。

参加学生の感想

ファシリテーションという言葉が今回初めて聞いた、というくらい今まで学んで来なかった新しい内容で、学校の授業などでは取り上げられなかったので、今回初めてファシリテーションを学び、実践してとてもいい経験になりました。また、ただ座って話を聞くだけの講座かと思って身構えていましたが、参加型の講座だったので、非常に有意義な時間でした。



▲研修の様子①



▲研修の様子②



▲研修の様子③



▲研修の様子④

リーダーシップ研修

2017年12月15日(金)にボランティアセンターと学生課の共催で、課外活動団体幹部向けリーダーシップ研修を実施しました。コミュニティマネジメント支援を専門としているNPO法人CRファクトリーの呉哲煥先生にお越しいたご、講演会とグループディスカッションを行いました。当日は96名の課外活動団体幹部が一堂に会し、団体の運営やチーム作りについて学び合いました。「団体の中で温度差がある」「リーダーだけが頑張りすぎてしまう」「ミーティングに人が集まらない」など、そんな課題解決の糸口となる非常に充実した研修となりました。

※NPO法人CRファクトリー (<http://crfactory.com/>)

参加学生の感想

今回の研修で最も印象に残ったことは最後に紹介して下さった詩です。人を育てる前に、自分が育つ姿を見せるということで、まずは自分が手本となるような行動をしなければならないということがよくわかりました。

また、今までは幹部が企画してそれをメンバーに指示するというやり方でしたが、企画の段階からメンバー全員でやっていくことが団体内の温度差を少なくする秘訣だということが印象的でした。



▲呉先生の講義



▲参加学生の様子



▲グループワークの様子



▲休憩時間での質疑応答

2016年度ボランティア実績一覧

A：スポーツ通訳・国際大会【16件／193名】 B：地域貢献・国際交流【50件／494名】

C：国際協力・国際開発【14件／46名】

No	案件	カテゴリ	日程	人数	内容
1	ジェフユナイテッド千葉韓国語通訳ボランティア	A	4月～11月	3	ジェフユナイテッド千葉が主催するホームゲーム時のメディア対応および、ジェフユナイテッド千葉練習後のメディア対応、ほか当クラブ主催イベント時の対応
2	第27回世界エアロビック選手権大会通訳ボランティア	A	4月2日(土)・3日(日)	7	エアロビック世界選手権での大会運営通訳及びドーピングシャベロン業務での通訳
3	ジャパンパラウィルチェアラグビー競技大会通訳ボランティア	A	5月19日(木)～22日(日)	7	車いすラグビー競技大会でのアメリカ・イギリス・オーストラリアから来る選手・スタッフの通訳
4	卓球ジャパンオープン2016通訳ボランティア	A	6月14日(火)～19日(日)	14	国際卓球連盟(ITTF)主催、ジャパンオープンでのオフィシャルデスク(会場案内・シャトル案内・試合選手誘導)の通訳
5	日中スポーツ国際交流イベント通訳ボランティア	A	7月11日(月)～18日(月)	2	中国人の子供が千葉県安房郡で行うサッカー交流試合、トレーニングでの中国語通訳
6	第3回WBSC U-15 Baseball Worldcup 2016 in いわき通訳ボランティア	A	7月27日(水)～8月8日(月)	8	いわき市で行われるU-15野球国際大会でのチーム付きの通訳
7	JR東日本通訳ボランティア	A	8月～3月	1	JR東日本東京駅構内での通訳・案内
8	カラテドリームフェスティバル2016国際大会通訳ボランティア	A	8月6日(土)・7日(日)	7	カラテドリームフェスティバル2016における大会出場選手やその同伴者への通訳
9	第20回日韓青少年夏季スポーツ交流通訳ボランティア	A	8月16日(火)～22日(月)	15	日本体育協会主催、小中学生のスポーツ交流により日韓の親善と友好を深め、スポーツ振興を図る「日韓共同未来プロジェクト事業」での韓国語通訳
10	ジュニアスポーツアジア交流通訳ボランティア	A	8月24日(水)	36	東京都スポーツ文化事業団主催アジア18都市より参加する235名のバドミントン・卓球選手の選手間交流通訳
11	文部科学省 スポーツ・文化・ワールド・フォーラム通訳ボランティア	A	10月19日(水)～21日(金)	24	文部科学省主催のスポーツ・文化・ワールド・フォーラムで、企業の製品体験ブースでの通訳や、要人アテンド、運営事務局のサポート
12	ちばアクアラインマラソン2016通訳ボランティア	A	10月23日(日)	14	アクアラインマラソンのヘルプデスクにて参加する外国人の対応
13	高円宮杯フェンシングワールドカップ通訳ボランティア	A	11月11日(金)～13日(日)	8	外国人選手が使用するフェンシング用具の試合前の簡単な武器検査、及びそれに関わる通訳
14	2017冬季アジア札幌大会通訳ボランティア	A	2月12日(日)～27日(月)	41	2017年冬季アジア札幌大会での通訳(NOCアシスタント)
15	「開発と平和のためのスポーツに関する国際シンポジウム」通訳ボランティア	A	3月8日(水)	3	国際シンポジウムでの受付と来場者の案内、通訳
16	第4回国際空手道選手権大会通訳ボランティア	A	3月26日(日)	3	競技ルールや事務連絡等の外国選手向けの通訳
1	幕張南小学校における外国籍児童の学習支援ボランティア	B	4月～7月	16	幕張南小学校での中国語話者児童・英語話者児童への授業サポートや学生生活支援
2	スポGOMI in イオンモール幕張新都心運営補助ボランティア	B	5月14日(土)	2	スポーツゴミ拾いイベントの運営サポート
3	タイ・フェスティバル通訳ボランティア	B	5月14日(土)・15日(日)	2	展示品の詳細を説明、通訳、農産物販売・イベントのサポートおよび通訳
4	イオンスポーツカーニバル2016運営補助ボランティア	B	5月21日(土)	14	豊砂公園で行われる小学生とその保護者を対象にしたスポーツイベントでの運営サポート
5	幕張新都心クリーンの日清掃活動(春)	B	5月25日(水)	11	近隣企業の方、地域住民の方と幕張新都心及びその周辺の清掃活動
6	幕張チャリティ・フリーマーケット運営ボランティア	B	5月29日(日)	65	第12回幕張チャリティ・フリーマーケットの企画・運営
7	レッドブル・エアレース千葉2016運営補助ボランティア	B	6月4日(土)・5日(日)	26	幕張で開催されるレッドブルエアレースでの「千葉ビレッジ」の運営と「エコステーション」管理
8	千葉市立打瀬小学校留学生文化交流	B	6月15日(水)	6	小学5年生のクラスで、本学留学生が小学生による日本紹介を聞き、日本文化や遊びなどを通じた交流活動
9	2016幕張チャレンジトライアスロンフェスタ運営補助ボランティア	B	6月18日(土)・19日(日)	6	幕張地区で開催されるトライアスロンレースでの選手受付・荷物預かり・給水・コース周辺での観客誘導整理

No	案件	カテゴリ	日程	人数	内容
10	県民の日運営補助ボランティア	B	6月19日(日)	34	千葉県民の日記念イベント「県民の日はワクワクフェスタ2016」に、本学のタイ民族音楽サークル「ドントリータイ」が出演。幕張ワールドビジネスガーデンで開催された「県民の日幕張フェスタ2016 県民コンサートin WBG」では、「YOSAKOI心」がソーラン節を披露
11	TOKYOベイエリアナイトラン運営補助ボランティア	B	7月1日(金)	3	スポーツニッポン新聞社主催のTOKYOベイエリアナイトランの受付、荷物預かり、給水係、走路案内などの運営補助
12	I Love Musicals運営補助・通訳ボランティア	B	7月4日(月)～7日(木)	9	ミュージカル「I Love Musicals」での出演者の英語通訳
13	防犯パトロールボランティア	B	7月9日(土)	3	幕張および幕張本郷地域での防犯パトロール
14	千葉テレビ高校野球番組演出助手ボランティア	B	7月9日(土)～25日(月)	8	千葉テレビ主催高校野球番組での番組演出助手・運営サポート
15	ベイトウン商店街翻訳ボランティア	B	7月31日(日)	4	ベイトウン商店街のホームページ上に掲載する情報の翻訳
16	東日本大震災復興教育ボランティア(宮城県亘理町)	B	8月1日(月)～5日(金)	19	宮城県亘理町の児童センターで、小学生を対象に英語アクティビティーを実施
17	海浜幕張まつり運営補助ボランティア	B	8月6日(土)	3	花火大会と同時開催で行われる「海浜幕張まつり」での実行委員会直営の緑日屋台のサポート
18	サマーソニック前夜祭・当日運営ボランティア	B	8月19日(金)～22日(月)	18	賑わいつくり研究会学生部がサマーソニック前夜祭の企画運営、サマーソニック当日の千葉物産展の運営ボランティアとして参加
19	京都大覚寺日本文化体験&通訳ボランティア	B	8月29日(月)・30日(火)	9	京都大覚寺にてお寺の生活を体験しながら、朝のお勤めから始まり、生け花、写経、お抹茶体験や寺院の案内など様々な体験を通して日本文化を学ぶプログラム
20	英語教育実践(福島県天栄村)	B	8月31日(水)～9月2日(金)	20	福島県天栄村の小学校及び幼稚園にて英語教育活動を実施
21	ベトナムEPA介護福祉士日本語会話ボランティア	B	9月～11月	3	ベトナム人EPA介護福祉士候補者の日本語会話ボランティア
22	第19回千葉市海浜アクアスロン大会運営補助ボランティア	B	9月3日(土)・4日(日)	3	千葉市で開催される大会の選手受付、給水、誘導
23	TOKYOベイエリアナイトラン運営補助ボランティア	B	9月9日(金)	7	スポーツニッポン新聞社主催のTOKYOベイエリアナイトランの運営
24	神田外語大学留学生別科プログラムガイダンス通訳ボランティア	B	9月13日(火)	1	留学生別科新学期のプログラムガイダンスでの英語通訳
25	TOKYOゲームショウ(日本電子専門学校)通訳ボランティア	B	9月15日(木)～18日(日)	9	東京ゲームショウに出展をする日本電子専門学校のブースでの通訳
26	TOKYOゲームショウ(日経BP)通訳ボランティア	B	9月15日(木)～17日(土)	5	東京ゲームショウでのプレス受付での運営サポートと通訳
27	フィエスタメヒカーナ運営補助ボランティア	B	9月17日(土)～19日(月)	43	メキシコの独立記念日(9月16日)を祝してお台場で毎年開催されるイベントで出されたごみの収集、分別や来場者へのプログラム配布、来場者の誘導
28	台湾学生モニターツアーアテンドボランティア	B	9月18日(日)・19日(月)	2	日本旅行主催、台湾学生モニターツアーのアテンド
29	幕張南小学校ニュージーランド交流会通訳ボランティア	B	9月23日(金)	28	幕張南小学校にて小学生とニュージーランドから来た留学生の交流会を行う際の通訳
30	日本語を母語としない親と子どものための進路ガイダンス通訳ボランティア	B	9月25日(日)	4	国際交流協会主催の日本語を母語としない親と子どものための高校進学ガイダンスの会場設営、参加者への道案内、質問等の記録
31	日本語を母語としない親と子どものための進路ガイダンス通訳ボランティア	B	10月2日(日)	7	国際交流協会主催の日本語を母語としない親と子どものための高校進学ガイダンスの会場設営、参加者への道案内、質問等の記録
32	幕張新都心クリーンの日清掃ボランティア(秋)	B	10月7日(金)	4	近隣企業の方、地域住民の方と幕張新都心及びその周辺の清掃活動
33	日本語を母語としない親と子どものための進路ガイダンス通訳ボランティア	B	10月9日(日)	4	国際交流協会主催の日本語を母語としない親と子どものための高校進学ガイダンスの会場設営、参加者への道案内、質問等の記録
34	ガーデックス通訳ボランティア	B	10月12日(水)～14日(金)	3	国際ガーデンEXPOにて展示会ブース内での来場者と依頼元の社長間の通訳
35	幕張ベイトウン ハロウィンパーティ2016運営補助ボランティア	B	10月16日(日)	8	ハロウィンパレードの引率・先導・警備、パレードお菓子配布スポット店でのお菓子配布対応、ハロウィンパーティ物販応援
36	第6回アジア・オセアニア・キャンプ大会通訳ボランティア	B	10月28日(金)～11月1日(火)	1	日本キャンプ協会が行う、「第6回 アジア・オセアニア・キャンプ大会」にて英語通訳として分科会やワークショップでの運営補助
37	英語で楽しむ親子おはなし会読み聞かせボランティア	B	10月29日(土)・11月12日(土)	4	美浜図書館(本館、分館)で幼児～小学生とその保護者を対象に英語絵本の読み聞かせおよび英語アクティビティの実施

2016年度実績

No	案件	カテゴリ	日程	人数	内容
38	幕張南小学校 学びフェスタ講師ボランティア	B	11月12日(土)	20	幕張南小学校にて開催される「学びフェスタ（地域一般のボランティアの方々や大学生が講座を開き小学生がその中から好みの2講座を選んで受講するというイベント）」において、子どもたちが世界の言葉と文化に興味を持ってもらえるような講義／ワークショップを担当
39	アセアン加盟国中学生招聘交流事業 通訳ボランティア	B	11月24日(木) ～12月1日(木)	6	長野県高遠少年自然の家で開催されるアセアンと日本の中学生の国際交流のアテンドおよび通訳
40	ウィークエンド ジャミン・ゼブ コンサート 通訳ボランティア	B	12月26日(月)	2	イベント中のゲストのトーク及び演奏曲目の紹介等に於ける通訳
41	海浜打瀬中学校中国語通訳ボランティア	B	1月17日(火)	7	中国の児童と日本の児童の交流会時の中国語通訳
42	韓国教職員招へいプログラム通訳ボランティア	B	1月19日(木)	5	千葉県教育委員会主催の歓迎夕食会で、韓国教職員と日本側（教育委員会職員等）の歓談・交流を行う際の通訳
43	タイモニタリングツアーアテンドボランティア	B	1月24日(火)・25日(水)	1	「海外大学生モニターツアー(対象国:タイ)」に参加するタイ人大学生との国際交流
44	成田国際空港ロビーコンサート 通訳ボランティア	B	1月27日(金)	2	「成田国際空港ロビーコンサート」の琴の演奏における公演チラシの英語訳及び、出演者トーク時の英語通訳
45	グルメラン運営補助ボランティア	B	2月12日(日)	9	受付、荷物預かり、給水係、走路案内などの運営
46	FOODEX通訳ボランティア	B	3月7日(火)～10日(金)	2	展示会出展における英語通訳
47	バンビーニフェスタ運営補助ボランティア	B	3月11日(土)・12日(日)	2	ランニングバイクレースの受付、スタート、ゴールのサポート
48	第6回セント・パトリック・デー・パレード 千葉2017運営補助ボランティア	B	3月26日(日)	2	会場設営、撤去、アトラクションスタッフ、受付、パレード参加者への案内、参加団体のアテンド、パレードのサポート
49	NPO法人さざんかの会夢のふなっこ 学習サポートボランティア	B	前期・後期	11	学校に通いたいけど通えない子供たちの支援
50	船橋市教育委員会 学習サポートボランティア	B	前期・後期	11	船橋市内小学校における学習支援
1	JICA短期ボランティア	C	4月～5月	1	アフリカ・ジンバブエで青年海外協力隊短期ボランティア（1か月）として現地の子供たちや指導者への野球指導
2	国際ボランティアプロジェクト	C	8月～9月	13	ヨーロッパ、北中米、アジアの約30か国で建物の修復、社会福祉、環境保護など、活動の分野も多岐にわたるボランティア活動
3	オセアニア環境保護ボランティア	C	8月～9月	9	オーストラリア、ニュージーランドで植林や遊歩道整備などの環境保護活動
4	オセアニア幼稚園ボランティア	C	8月～9月	3	オセアニアの幼稚園にてティーチャアシスタント
5	ベトナムボランティア	C	8月～9月	1	ベトナムでの孤児院等での子供たちのサポート活動
6	インドネシア日本語教師アシスタント	C	8月～9月	1	インドネシア人の家庭にホームステイをしながら、地元の高校/大学、幼稚園/小学校で日本語や日本文化の授業を補助するボランティア活動
7	カナダボランティア	C	8月～9月	1	トロント・バンクーバー・ビクトリア・カルガリーの1都市で、現地の家庭に滞在しながら、地域サポート、環境保護、動物保護のいずれかの分野で活動
8	国際ボランティアプロジェクト	C	2月～3月	1	ヨーロッパ、北中米、アジアの約30か国で建物の修復、社会福祉、環境保護など、活動の分野も多岐にわたるボランティア活動
9	オセアニア環境保護ボランティア	C	2月～3月	1	オーストラリア、ニュージーランドで植林や遊歩道整備などの環境保護活動
10	オセアニア幼稚園ボランティア	C	2月～3月	1	オセアニアの幼稚園にてティーチャアシスタント
11	インドネシア日本語教師アシスタント	C	2月～3月	1	インドネシア人の家庭にホームステイをしながら、地元の高校/大学、幼稚園/小学校で日本語や日本文化の授業を補助するボランティア活動
12	カナダボランティア	C	2月～3月	3	トロント・バンクーバー・ビクトリア・カルガリーの1都市で、現地の家庭に滞在しながら、地域サポート、環境保護、動物保護のいずれかの分野で活動
13	アメリカボランティア（教師アシスタント）	C	2月～3月	1	ユタ州ソルトレイクシティ近郊およびアリゾナ州フェニックス近郊の小学校でアメリカ人教師のアシスタント活動
14	ホノルルフェスティバル運営ボランティア	C	3月7日(火)～15日(水)	9	ハワイホノルルで開催されるホノルルフェスティバルにおける運営補助
			計	733	

2017年度ボランティア活動実績一覧

A：スポーツ通訳・国際大会【14件／127名】 B：地域貢献・国際交流【32件／447名】

C：国際協力・国際開発【10件／34名】

No	案件	カテゴリ	日程	人数	内容
1	第28回世界エアロビック選手権大会 通訳ボランティア	A	4月22日(土)・23日(日)	2	ウォームアップから競技までの選手スケジュール管理、選手の通訳
2	ジェフユナイテッド千葉 韓国語通訳ボランティア	A	5月1日(月) ～12月3日(日)	3	ジェフユナイテッド千葉が主催するホームゲーム時のメディア対応および、ジェフユナイテッド千葉練習後のメディア対応、ほか当クラブ主催イベント時の対応
3	PIITs>Iコンソーシアム 異文化PBL通訳ボランティア	A	7月8日(土)	4	インド人学生と日本人学生が5チームに分かれ、2020年東京五輪についてアイディアを出しディスカッションを行うイベントにて、各チームの通訳
4	女子ソフトボールニュージーランド代表 チーム強化合宿通訳ボランティア	A	7月13日(木)・16日(日)	7	ニュージーランド代表チームの歓迎レセプションにおける来賓と選手間の通訳およびニュージーランド代表が実施するソフトボール教室における選手と小中学生の間の通訳
5	第27回世界少年野球大会横浜大会 通訳・運営ボランティア	A	8月7日(月)～16日(水)	5	国内外から大会に参加する10歳、11歳の子供たちの生活サポートや通訳業務
6	JAPAN AIRLINES Championship 通訳・運営ボランティア	A	9月8日(金)～10日(日)	2	快適な観戦環境と競技環境作りとして、ギャラリーを安全に楽しく、選手がプレーしやすいように案内・誘導
7	TOKYO GAME SHOW 2017 通訳ボランティア	A	9月21日(木)～24日(日)	7	日本電子専門学校学生スタッフの一人として海外企業や海外来場者との橋渡しを行い、外国人客の集客及び通訳業務を行い学校をアピール
8	第9回BFA U-15アジア野球選手権 通訳ボランティア	A	10月29日(日) ～11月7日(火)	2	第9回BFA U-15アジア野球選手権への参加チームの通訳、大会本部の通訳
9	高円宮杯フェンシングワールドカップ 通訳ボランティア	A	11月10日(金) ～11月12日(日)	8	2017高円宮杯フェンシングワールドカップにおいて外国人選手が使用するフェンシング用具の試合前の簡単な武器検査、及びそれに関わる通訳
10	第10回アジアエアガン選手権大会 通訳ボランティア	A	12月4日(月)～13日(水)	12	入出国手続きガイドの外国語版の作成、アジア各国から来日する選手の入出国時における手続きサポート、ホテルチェックインまでの誘導
11	アジア・オセアニア 国際アンチドーピングセミナー ゴールボール体験会通訳ボランティア	A	12月5日(火)	2	幕張総合高校ゴールボール体験会での英語通訳補助
12	成田国際空港スカイリウムコンサート 通訳ボランティア	A	1月26日(金)	2	「成田国際空港スカイリウムコンサート」の琴・尺八の演奏における公演チラシの英語訳及び、出演者トーク時の英語通訳
13	2018平昌冬季オリンピック 通訳・運営ボランティア	A	2月1日(木)～ 2月26日(月)	67	観客案内ボランティア(競技場に配置され、指定席や売店、飲食店などの案内、観戦や退場時の秩序維持) 交通案内ボランティア(大会主要施設に配置され、交通情報提供などの業務)
14	平成29年度千葉・県民音楽祭 通訳ボランティア	A	2月4日(日) ・2月12日(月)	4	「平成29年度千葉・県民音楽祭」における外国人用プログラムの英語訳及び、外国人来場者の英語通訳
1	Gastech2017運営補助ボランティア	B	4月4日(火)～7日(金)	4	JR海浜幕張駅など幕張メッセ周辺及び幕張メッセの会場内での道案内や入口でのバッジスキャン及びインフォメーションデスクでの周辺観光等の案内
2	キッズマラソン2017運営補助ボランティア	B	4月22日(土)	16	豊砂公園で実施されるキッズマラソン当日の受付や、各体験会場でのサポート
3	昭和学院秀英中学校外国人役ボランティア	B	5月1日(月)・2日(火)	16	修学旅行に関する事前指導として中学生3～4人に1人大学生がつき、英語会話の指導

2017年度実績

No	案件	カテゴリ	日程	人数	内容
4	タイ・フェスティバル通訳ボランティア	B	5月13日(土)・14日(日)	2	展示品の詳細を説明、通訳、農産物販売・イベントのサポートおよび通訳
5	幕張新都心クリーンの日清掃活動(春)	B	5月24日(水)	4	近隣企業の方、地域住民の方と幕張新都心及びその周辺の清掃活動
6	幕張チャリティー・フリーマーケット運営ボランティア	B	5月27日(土)	50	第13回幕張チャリティー・フリーマーケットの企画・運営(来場者数:1,400名)
7	レッドブルエアレース千葉2017運営補助ボランティア	B	6月3日(土)・4日(日)	39	幕張で開催されるレッドブルエアレースでの「千葉ビレッジ」の運営と「エコステーション」管理
8	2017幕張チャレンジトライアスロンフェスタ運営補助ボランティア	B	6月17日(土)・18日(日)	24	幕張地区で開催されるトライアスロンレースでの選手受付・荷物預かり・給水・コース周辺での観客誘導整理
9	昭和学院秀英中学校英語プレゼン評価ボランティア	B	7月12日(水)	3	昭和学院秀英中学校の3年生による修学旅行先の京都を外国人に紹介するプレゼンの評価
10	ブラジルフェスティバル2017運営補助ボランティア	B	7月15日(土)・16日(日)	26	ブラジルフェスティバルでの誘導、受付などの運営補助
11	東日本大震災復興教育ボランティア(宮城県亘理町)	B	7月31日(月)～8月4日(金)	26	宮城県の亘理町中央児童センター、逢隈児童館、吉田西児童クラブ、吉田児童クラブ、高屋児童クラブ、中町児童クラブ、荒浜児童クラブにて英語アクティビティを実施
12	日本学校教育相談学会運営補助ボランティア	B	8月4日(金)	7	日本学校教育相談学会の運営補助(会場案内、駅案内など)
13	台湾大学モニターツアーアテンドボランティア	B	8月6日(日)・7日(月)	5	台湾の大学生と1泊2日の旅行に一緒に参加をし、公共交通機関の移動のフォロー、千葉県内の観光の見所のアドバイス、異国の同世代の大学生との交流
14	「えいごであそぼ」英語講師ボランティア	B	8月22日(火)～24日(木)	10	小学校2～4年生の児童がより英語に親しみ、身近に感じられるようゲームの要素を取り入れた活動や身体を使った英語活動
15	京都大覚寺日本文化体験&通訳ボランティア	B	8月22日(火)～24日(木)	12	京都大覚寺にてお寺の生活を体験しながら、朝のお勤めから始まり、生け花、写経、お抹茶体験や寺院の案内など様々な体験を通して日本文化を学ぶプログラム
16	TOKYOベイエリアナイトラン運営補助ボランティア	B	9月1日(金)	11	スポーツニッポン新聞社主催のTOKYOベイエリアナイトランの受付、荷物預かり、給水係、走路案内などの運営補助
17	英語教育実践(福島県天栄村)	B	9月4日(月)～7日(木)	17	学期開始後の福島県天栄幼稚園、湯本小学校、牧本小学校、大里小学校、広戸小学校、天栄中学校、湯本中学校にて英語教育活動を実施
18	千葉日大一中英語学習サポーター	B	9月4日(月)～3月31日(土)	3	放課後に中学1、2年生の希望者を対象に英語の学習支援
19	フィエスタメヒカーナ運営補助ボランティア	B	9月16日(土)～18日(月)	52	メキシコの独立記念日(9月16日)を祝してお台場で毎年開催されるイベントで出されたごみの収集、分別や来場者へのプログラム配布、来場者の誘導
20	幕張南小学校ニュージーランド交流会通訳ボランティア	B	9月22日(金)	29	幕張南小学校にて小学生とニュージーランドから来た留学生の交流会を行う際の通訳
21	グルメランin東京運営ボランティア	B	9月23日(土)	11	受付、荷物預かり、給水係、走路案内などの運営補助
22	日本語を母語としない親と子どものための進路ガイダンス(千葉会場)	B	10月1日(日)	11	国際交流協会主催の日本語を母語としない親と子どものための高校進学ガイダンスの会場設営、参加者への道案内、質問等の記録
23	日本語を母語としない親と子どものための進路ガイダンス(市川会場)	B	10月1日(日)	1	国際交流協会主催の日本語を母語としない親と子どものための高校進学ガイダンスの会場設営、参加者への道案内、質問等の記録
24	幕張新都心クリーンの日清掃活動(秋)	B	10月11日(水)	31	近隣企業の方、地域住民の方と幕張新都心及びその周辺の清掃活動
25	英語で楽しむ親子おはなし会読み聞かせボランティア	B	10月28日(土)・11月11日(土)	4	美浜図書館(本館、分館)で幼児～小学生とその保護者を対象に英語絵本の読み聞かせおよび英語アクティビティの実施
26	「世界のともだちパネル展」留学生交流ボランティア	B	10月29日(日)	2	図書館で行われる「世界のともだちパネル展」の来場者と出身国の話を、自国(指定)の言葉で挨拶、パネルの写真のシーンを説明(留学生)

No	案件	カテゴリ	日程	人数	内容
27	アセアン加盟国中学生招聘交流事業 通訳ボランティア	B	11月21日(火)～27日(月)	3	長野県高遠少年自然の家で開催されるアセアン（シンガポール・マレーシア・ラオス）と日本の中学生の国際交流のアテンドおよび通訳
28	幕張南小学校 学びフェスタ講師ボランティア	B	11月25日(土)	9	幕張南小学校にて開催される「学びフェスタ（地域一般のボランティアの方々や大学生が講座を開き小学生がその中から好みの2講座を選んで受講するというイベント）」において、子どもたちが世界の言葉と文化に興味を持ってもらえるような講義／ワークショップを担当
29	千葉市植樹ボランティア	B	11月25日(土)	8	千葉市若葉区にある泉自然公園の多くの杉が腐朽れ病や倒木の危険性が高い状況にあるため、市民が安心して多くの動植物とふれあうことができる魅力ある「野鳥の森」を再生するために植樹を行う
30	昭和学院秀英中学校3年ポスターセッション	B	12月18日(月)	1	昭和学院秀英中学校3年生の社会課題についてのポスターセッションについて助言
31	タイモニタリングツアーアテンドボランティア	B	12月24日(日)・25日(月)	2	「海外大学生モニターツアー（対象国:タイ）」に参加するタイ人大学生との国際交流を行う。モニターツアー中の1泊2日をタイ人大学生をアテンド
32	LOVE福島運営補助ボランティア	B	3月25日(日)	8	千葉と福島をつなぐ福島復興イベント「第二回 LOVE福島」において、「ゆるキャラ大集合」の運営補助
1	国際ボランティアプロジェクト	C	7月～9月	8	ヨーロッパ、北中米、アジアの約30か国で建物の修復、社会福祉、環境保護など、活動の分野も多岐にわたるボランティア活動
2	オセアニア環境保護ボランティア	C	7月～9月	6	オーストラリア、ニュージーランドで植林や遊歩道整備などの環境保護活動
3	カナダボランティア	C	7月～9月	2	トロント・バンクーバー・ビクトリア・カルガリーの1都市で、現地の家庭に滞在しながら、地域サポート、環境保護、動物保護のいずれかの分野で活動
4	アメリカボランティア	C	7月～9月	2	カリフォルニア州サンフランシスコ中心部のレジデンスに滞在しながら、NPO活動支援やチャイルドケア、シニア福祉などの活動
5	アメリカボランティア（教師アシスタント）	C	7月～9月	1	ユタ州ソルトレイクシティ近郊およびアリゾナ州フェニックス近郊の小学校でアメリカ人教師のアシスタント活動
6	国際ボランティアプロジェクト	C	2月～3月	2	ヨーロッパ、北中米、アジアの約30か国で建物の修復、社会福祉、環境保護など、活動の分野も多岐にわたるボランティア活動
7	オセアニア環境保護ボランティア	C	2月～3月	6	オーストラリア、ニュージーランドで植林や遊歩道整備などの環境保護活動
8	インドネシア日本語教師アシスタント	C	2月～3月	1	インドネシア人の家庭にホームステイをしながら、地元の高校/大学、幼稚園/小学校で日本語や日本文化の授業を補助するボランティア活動
9	アメリカボランティア（教師アシスタント）	C	2月～3月	1	ユタ州ソルトレイクシティ近郊およびアリゾナ州フェニックス近郊の小学校でアメリカ人教師のアシスタント活動
10	ホノルルフェスティバル運営ボランティア	C	3月6日(火)～14日(水)	5	ハワイホノルルで開催されるホノルルフェスティバルにおける運営補助
			計	608	

学内ボランティア団体の紹介



Hello Time

千葉県内の保育園や子ども園で、英語で遊ぼうの時間を担当したり、小学校での英語の時間をサポートしてきました。また更に子どもたちに英語に興味をもってもらえるように自主的にイベントの開催もしています。



Habitat for Humanity KUIS

夏と春の年2回、海外住居建築活動を途上国で行い、毎月末には啓蒙活動も兼ね、現地での建築資材購入のための募金活動や、週に1回主に国際問題についての勉強会を行っています。



DAWN×KUIS

フィリピン人女性とその子供たちを支援する学生団体です。支援するフィリピン人女性たち手作りのブックカバーなどの小物や、シャツなどの衣服をフェアトレード商品として販売しています。



神田外語大学CUP

大学キャンパス内で地域の方々から寄付品を募り、フリーマーケットを中心としたチャリティイベントを実施しています。



くいすにほんごくらぶ

日本に住む外国の方に日本語を教える活動をしています。現在はブラジル、ベトナムの学習者が多く参加しています。また、日本語を教えるだけではなく日本の文化を伝えるアクティビティも行っています。



幕張新都心賑わいづくり研究会学生部

幕張の地域の方や団体と積極的に交流し、サマーソニックの前夜祭企画を始めとして、数々のイベントを企画・運営し地域活性化につながる活動をしています。



MAKE SMILE

「被災地で笑顔を発信」をテーマに、災害復興支援ボランティア団体として、主に東日本大震災で被災された宮城県亘理町の児童館でのボランティア活動や、九州への震災・豪雨災害義援金募金活動などを行っています。



ラテンアメリカ研究会

日本の絵本をスペイン語に翻訳し、その本を寄贈する活動を行っています。JICAの方々に協力して頂き、ペルー、ボリビア、パラグアイの3カ国にある日系人学校に寄贈しています。

KUIS Volunteer Union

—学内ボランティア団体の連合体—

目的

- 1) ボランティア団体同士の横の連携を強め、各団体の活動を活性化する
- 2) 各団体の抱える課題共有とその問題を解決する
- 3) 合同イベントの企画・運営を通して学内外に向けて、神田外語大学のボランティア活動を周知する

主催イベント

◆2016年度

《学内ボランティア団体合同説明会2016》

ボランティアに興味のある在学生向けに学内ボランティア団体が一堂に会す合同説明会を実施しました。学内にはどのようなボランティア団体があり、どのような活動をしているのかなど1団体ずつプレゼンテーションを行いました。

日 程	4月18日（月）、25日（月）12：20～13：00
場 所	4-304、4-302
内 容	2日に分けて各ボランティア団体の紹介、プレゼンテーション
参加者数	170名（全学生対象）

《熊本地震復興支援募金2016》

2016年4月に発生し大きな被害をもたらした熊本地震の復興支援としてKUIS Volunteer Unionの学生が自主的に立ち上がり、学内での募金活動を実施しました。食堂を中心に募金活動を行い、教職員、在学生など多くの方にご協力いただき、2週間で108,979円の募金が集まりました。

大学間教育連携に関する協定を締結している熊本県の崇城大学へ全額寄付させていただき、崇城大学の学生の復興支援活動金として、ご活用いただきました。

日 程	4月28日（木）～5月13日（金）
場 所	ラパス前、7号館カフェ前、食神前、千葉銀行ATM前
主 催	KUIS Volunteer Union
寄 付 先	崇城大学（現地での学生の復興支援活動金として）
募 金 額	108,979円



◆2017年度

《学内ボランティア団体合同交流会2017》

ボランティアに興味のある在学生向けに学内ボランティア団体が一堂に会す交流会を実施しました。団体ごとのブース形式になっており、お茶をしながらカフェのような雰囲気、興味のある団体に話が聞けて自由に質問もできる交流会になりました。

日 程	5月12日（金）
場 所	ラパス
内 容	ブース形式で興味のある団体に自由に話が聞ける交流会
参加者数	60名（全学生対象）



▲学内ボランティア団体合同交流会2017①



▲学内ボランティア団体合同交流会2017②

《九州北部豪雨災害支援募金2017》

2017年7月5日～6日にかけて福岡県、大分県を中心とする九州北部で発生した集中豪雨の復興支援として、募金活動を実施しました。27,018円の募金が集まり、福岡県朝倉市に直接寄付をさせていただき、義援金として役立てていただきました。

日 程	7月21日（金）～26日（水）
場 所	ラパス、バルコーネ、食神、7号館カフェ、総務課
主 催	KUIS Volunteer Union
寄 付 先	福岡県朝倉市（自治体に直接寄付）
募 金 額	27,018円

ボランティア情報の発信

ボランティア登録

2014年度にボランティア登録制度を導入し2017年度は、604名の学生が登録をしました。ボランティア活動をより多くの学生に経験してもらうため、ボランティアに興味関心のある学生情報のデータベース化を図り、より効果的にボランティアの募集を行いました。登録者には、ボランティア活動を促進する目的として、学内外で実施するセミナー、イベント、講座等の情報を定期的に「ボラセンINFO」としてメールマガジンで配信しています。

ボランティアセンターホームページ／スポーツ通訳ボランティア推進室ホームページ

ボランティアセンターホームページおよびスポーツ通訳ボランティア推進室のホームページにて、最新情報を更新しています。ボランティアの募集情報をリアルタイム、且つ活動内容を分かりやすく案内をしています。ボランティアの情報については、事前に学生の学習機会として信頼性、学生の自立的な活動の場としての適切性等を吟味・精査しながら情報を発信しています。

URL

ボランティアセンターホームページ <http://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/labo/volunteer/>

スポーツ通訳ボランティア推進室ホームページ <http://sports-volunteer.tokyo/>



▲ボランティアセンターホームページ



▲スポーツ通訳ボランティア推進室ホームページ

協力・関連団体

幕張新都心賑わいづくり研究会 <http://www.makuhari-nigiwai.com/>

幕張新都心周辺の企業・行政・教育機関・地元自治会、商店会が連携し幕張新都心の活性化と賑わい創出に取り組む研究会。

国際教育交換協議会 <http://www.cieej.or.jp/>

アメリカに本部を持つ非営利教育団体。「TOEFLテスト日本事務局」としてTOEFLテスト公式情報を発信し、国際ボランティアプロジェクトを始めとする海外ボランティアを主催する団体。

特定非営利活動法人アジア・コミュニティ・センター21 (ACC21) <http://www.acc21.org/>

アジアの現地NGO団体との幅広いネットワークを基盤に、アジアの貧困削減の実現に向け活動する団体。

公益信託アジア・コミュニティ・トラスト (ACT) <http://www.acc21.org/act/>

アジアの発展途上国の人々の自立と発展を支援する公益信託。

日本財団学生ボランティアセンター (GAKUVO) <http://gakuvo.jp/>

学生ボランティアの育成を目的に2010年に設立され、災害地へのボランティア派遣や学生団体向けの助成金制度の運営などを行っている団体。

旧嵯峨御所 大本山 大覚寺 <https://www.daikakuji.or.jp/>

嵯峨天皇の離宮として建立されて1200年以上、絶えず歩みつづけてきた由緒あるお寺。弘法大師空海を宗祖と仰ぐ真言宗大覚寺派の本山。正式には旧嵯峨御所大本山大覚寺と称し、嵯峨御所とも呼ばれる。

一般社団法人 福志会 (ふくしまサクラモリプロジェクト) <http://www.fukushima-sakuramori.jp/>

東日本大震災による福島第一原発事故、その風評被害の払拭、及び被災地の復興のためサクラモリプロジェクトを企画・運営している団体。

編集後記

ボランティアコーディネーター
實山あゆみ（ジツヤマ アユミ）



神田外語大学「ボランティアセンター」が設立して6年目を迎え、ボランティアセンター年次報告書第2号（2016-2017）を編集するに至りました。設立当初は、学生課内の一つの机と一本の電話から始まったボランティアセンターですが、2017年10月から6号館2階に事務室とボランティア活動エリアが設置され、在学生のボランティア活動支援がしやすいより良い環境が整備されました。

2018平昌冬季オリンピック・パラリンピック大会を皮切りに、2019年のラグビーワールドカップ、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会など、今後ますます学生ボランティアの需要増加が見込まれます。ボランティア活動を通して、様々な人々と関わり、協働しながら活動を進めていく中で、大学での「学び」をさらに深め、学生自身の成長に繋がると確信しております。

ボランティア活動に興味はあっても、初めの一步は少し勇気のいることかもしれません。ただ、その一步を踏み出すだけで、たくさんの気づきや学び、出会い、達成感そして感動が待っていることをボランティアに参加した多くの学生が体現しています。「誰かのために活動している」と思っていたボランティア活動は、「自分の学び」になって戻ってきます。「子どもたちのために活動していたつもりが、いつの間にか自分が子供たちから元気と多くの気づきをもらっていました」—東日本大震災復興教育ボランティアに参加した学生の言葉です。学生の「学びの場」としてのボランティア活動を今後も支援していければと願っております。

最後になりましたが、こうしてボランティアセンターが無事6年目を迎えることができ、「年次報告書第2号」の編集が叶いましたのも、地域の方々、受け入れ団体様、他大学ボランティアコーディネーターの皆様、学内の教職員の方々そして在学生のボランティア関連の各団体など、ボランティアセンターに関係する全ての方々のご理解とご協力とご支援の賜物であると感謝しております。

今後とも神田外語大学ボランティアセンターを温かく見守っていただけますよう、この場をお借りして、心より御礼申し上げます。

神田外語大学ボランティアセンター報告書

発行 2018年5月

発行者 神田外語大学ボランティアセンター

千葉県千葉市美浜区若葉1-4-1 6号館2階

TEL : 043-273-1337

Email : volunteer-center@kanda.kuis.ac.jp

ホームページ : <http://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/labo/volunteer/>

印刷 勝美印刷

